

大学出版

大学と社会を結ぶ 知のネットワーク

*特集

大学教育・研究の現在

——コロナ禍における各国比較

西山雄二 1

コロナ禍に直面するフランスの大学

馬場公彦 7

中国の大学事情——北京大学での教学経験を中心に

本橋哲也 15

感染症とイギリスの人文学——歴史、スポーツ、演劇

影本 剛 21

韓国人文系大学博士課程の研究生活

大学出版部ニュース 26

THE ASSOCIATION OF JAPANESE UNIVERSITY PRESSES

No. 123
2020.9
夏



一般社団法人
大学出版部協会

大学出版部協会 新刊ご案内

ブックレット第4弾

対立を乗り越える 心の実践

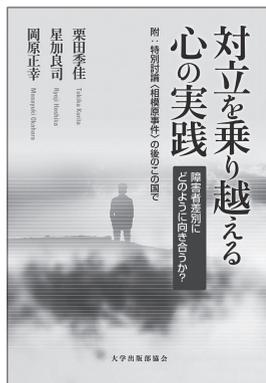
障害者差別にどのように向き合うか？

栗田季佳・星加良司・岡原正幸

大勢の障害者の命が奪われた〈相模原事件〉を起す影は、私たちの内にある。制度や「ねばならない」的教導では、差別はなくなる。「潜在化する偏見」を炙りだし、その原因となる心のメカニズムと社会的背景にまで遡って考察することで、差別解消への糸口を考える。

[発行：大学出版部協会／発売：東京大学出版会]

ISBN978-4-13-003153-0 2017年2月刊行
A5判／88頁／本体1,000円＋税



主要 目次

- 第1章 見えない偏見
障害者を取り巻く問題に現れる心の動き (栗田季佳)
- 第2章 バリアフリーという挑戦
「社会を変える」ことは可能か (星加良司)
- 第3章 生の問題として〈対立を乗り越える〉を考える (岡原正幸)
- 第4章 討論
対立を乗り越える学問の挑戦 (栗田季佳・星加良司・岡原正幸)
- 第5章 特別討論〈相模原事件〉の後のこの国で
有事モード下の差別と偏見

特集＊大学教育・研究の現在——コロナ禍における各国比較

コロナ禍に直面するフランスの大学

西山雄二（東京都立大学教授）

新型コロナウイルスの世界的大流行は大学の研究教育を大きく変えてしまった。対面授業から遠隔授業への転換、実験実習の中断、図書館や資料館の閉鎖、留学の中止、研究者の国際交流の停止、国際会議の延期や中止などである。大学キャンパスが続々と封鎖され、教師と学生の生身の交流にもとづく教育が困難となった。真理探究という普遍的な営みには国際的な共同が不可欠だが、公衆衛生のために国境が閉じられ、研究者同士の直接的な交流の機会が失われた。研究教育活動をオンラインでの間接的な対話に頼らざるをえなくなり、効率化や合理化の恩恵ももたらしているが、とはいえ、大学の重要な活力はあきらかに削がれている。

コロナ禍によって先鋭化した大学のさまざまな問題はすでに顕在化していたものだ。学生の貧困、学費の高騰と奨学金の不十分さ、大学院生の研究ポスト獲得、研究の世界

規模での過度の競争、予算獲得やガバナンスといった大学運営の困難などである。フランスの大学の事例を取り上げて、大学をめぐる今日的な問題を描き出してみたい。

1 キャンパス閉鎖と遠隔授業化

二〇二〇年二月、中国に次いで、ヨーロッパでは北イタリアで新型コロナウイルスが蔓延し、その後、三月半ばにはフランスも大規模な感染に見舞われた。マクロン大統領は三月一二日に演説をおこない、「子供や若者を守ると同時に、全国的なウイルスの拡散を抑えるため」に翌週の一日からの保育園、小学校、中学校、高校、大学の閉鎖を告知した。大統領は「私たちは戦時下にあります、もちろん防疫の戦争です。〔…〕敵はそこにいます、目に見えない、知覚できない、進軍してくる敵です。総動員が必要です」と述べ、罰金措置をとまう外出禁止令を出した。

高等教育機関はキャンパス閉鎖の対応に追われた。週末の数日間で準備をして月曜からオンライン授業に切り替えた大学もあれば、一・二週間の準備期間を経てオンライン授業で学期を再開させた大学もあった。日本の場合、多くの大学が三月末から四月にかけて準備してGW明けからオンライン授業開始という日程だったので、フランスの対応の早さには驚かされる。

フランスではそもそも遠隔教育の歴史は長い。一九三九年に国立通信教育センター(CNEC)が設立され、国民教育省の管轄下で遠隔教育や生涯学習、デジタル学業支援が実施されてきた。今回の自宅隔離生活でも、国立通信教育センターはただちにポータルサイト「家庭学習」を開設した。保育学校から高校までの授業が提供され、練習問題が配付されたのだ。このサイトには同時に一五〇〇万件のアクセスが可能で、各科目ごとに一日や一週間単位のプロگرامが組まれている。

高等教育に関して言うと、二〇〇三年、高等教育省は「インターネット大学 (Universités numériques)」を創設し、人文学から法学、経済学、工学、環境学、健康・スポーツ学までをオンラインで学べるプラットフォームをつくった。その目的は、大学生の学習支援、生涯教育、障がい者や受刑者などのための遠隔教育などである。連携する各大学で準備された多数の講義動画がサイトで配信されており、視聴者は専門分野や教育目的に応じて自由に学ぶことができる。

フランス社会全体でみると、情報化やペーパーレス化(フランス語でDémocratisation (脱物質化)と表現される)はすでに進展していた。クレジットカード社会なのでオンラインでの注文や決済はそもそも一般的である。二〇一二年からは行政書類の電子化が開始され、行政手続きや行政文書のやりとりのほとんどがオンラインに移行している。二〇一九年の統計では、フランス人の九一%がインターネットに接続できる環境にあり、パソコンの世帯保有率は七七%である(総務省「令和元年版情報通信白書」によれば、日本では二〇一八年のインターネット利用率は七九・八%、パソコンの世帯保有率は七四%)。

大学の全国的な閉鎖は大変な事態だが、しかし興味深いことに、フランスの教員と学生はこうした状況に順応しているようだ。二〇一九年末は年金制度の一本化という大改革に反対して、鉄道や教育機関などでストライキとデモが起こり、フランス社会が麻痺した。大学の機能が停止したことで、今年度の前期においてすでに成績判定が困難な状況にあった。

また、二〇一八年に大学入試制度改革がおこなわれた際も、大学は学生らに封鎖された。同年二月、「学生の進路指導と成功に関する法」が国民議会で可決され、新たな大学入学制度「Parcoursup」が施行された。改革によって、バカロレア(大学入学資格)を取得すれば誰でも入学の権利を得られた平等な状態(選抜無しで学籍登録できる開放入

学制)から、「専門化された選抜式」に変わる。増加した大学入学者数と各大学・学科の定員数の齟齬を解消するための改革だが、選抜式への移行によって、教育機会の平等の権利が失われる恐れがある。これに反発する大学生らは座り込みデモや授業ボイコットをおこない、フランスの大学七〇校のうち約一五が封鎖されたが、最終的に機動隊によって次々と学生らは排除された。

こうした非常事態はフランスの大学で度々起こることなので、今回の遠隔授業への対応も早かったと言える。ただ、これほど全国的な遠隔授業への移行は学生のあいだ、教員のあいだで数々の断絶をもたらしてはいる。ネット接続のトラブルが続出する学生、スマートフォンでレポート課題を執筆せざるをえない学生など、学業に困難をきたしている学生は少なくない。インターネット環境や学習用ポータルサイトが整備されていることとその活用能力は異なる。社会や家庭の環境によって情報格差が生じており、オンライン授業を受ける学生もその影響を受けているのである。

2 学生の隔離生活

大学が閉鎖されてから、下宿している多くの学生は実家に戻ったが、親に経済的支援を望めなかったり、実家が遠方だったりする学生は下宿を続けた。少なからぬ学生はコロナ禍によるアルバイトの失職により経済的に困窮している。学生支援機構(GROUS)や赤十字などの団体は毎週、

食糧や生活必需品の配給を各地でおこなったが、つねに長蛇の列ができていた。

以前から学生の貧困は問題になっていた。約三〇%の学生は学生支援機構の公的奨学金を得ており、月額一二〇〜五一六ユーロ(約一五〇〇〇〜六七〇〇円)が支給されているが、半数以上の学生は不足分を補うためにアルバイトに従事している。フランス全国学生連合による二〇一八年の調査によれば、生活を維持する最低限の収入しかないといわれる貧困線以下で暮らす学生は二〇%を超えているという。実際、二〇一九年一月、リヨン第二大学の学生が生活苦からキャンパス内で焼身自殺をするという事件が起きた。この学生は留年して奨学金を打ち切られたことに抗議して、学生支援機構の事務所で命を絶った(二〇一八年、やはり生活困窮のため、九州大学の研究室に火を放って亡くなった四六歳の非常勤研究者のことが思い出される)。学生の自死は共感呼び、各地の大学生が「経済的な不安によって殺される」と訴えて抗議デモを起こした。コロナ禍はあらためて、学生のこうした脆弱な生活状況を明るみにしたのだった。

博士論文の口頭審査は大学封鎖とともに停止され、大学院生の人生に深刻な影響を及ぼしている。博士号の取得が遅れると、ポストドクター向けの職種への応募ができず、九月からの新年度に無職になってしまうからだ。毎年一五〇〇〇件の博士号の審査がおこなわれるが、延期された大

量の口頭試問が九月以降に集中してしまうことも問題にな
っている。

四月末、高等教育・研究省から大学院生に対して、博士課程への登録年限、フランス国立研究機構（日本の学術振興会に相当する公的資金配分機関）の競争的研究資金について、一年間の延長が認められた。感染症による研究の大幅な遅れを考慮した妥当な措置だが、その遂行は各研究機関次第である。新規の院生との割合をどうするのか、研究費をいかに配分するのかは、豊かな財源をもつ研究機関に有利なのではないかと懸念されている。

3 バカロレア（大学入学資格）の中止

ブランケール教育相は四月三日の記者会見において、バカロレアの筆記試験の中止を発表した（高校二年次のフランス語の予備試験だけ口頭で実施）。筆記試験の代わりに成績は休校前までの平常点によって評価される。教育相はこの異例の審査に関して、各教員に「好意的な対応」を依頼した。まず、学区毎に審査官が高校間の成績基準の差を補正する。成績があまりにも低い生徒に関しては、追加点を課して追加審査に挑戦できるように工夫する。また、文系、経済社会系、理系というコース別の成績格差も調整される。休校期間中の自習課題については、各々の家庭や情報機器環境の相違に配慮して成績評価には加えない。こうした決断は七四万人の受験生に動揺と不安をもたらしたが、教職

員組合からは概ね好意的に受け止められた。

筆記試験なしでたき売りされる今年のバカロレアの価値を懸念する声もあるが、ブランケール教育相はその質と平等性を確保するべく努めるとしている。ただ、平常点での評価になると、教育困難校とエリート校のあいだでどうやって成績基準を調整するのかといった課題が残る。たとえば、パリの名門校ルイール・グラン高校では実に五〇%の学生が「優」の成績評価を受けているという。また、これまででは緩やかに勉強していて、最後の時期に追い込みの試験勉強をしようと考えていた学生にとっては、梯子を外された感がある。

バカロレア試験はナチス占領期にも、六八年五月革命時にも実施されたが、史上初めて今回全面的に中断された。バカロレアは一八〇八年にナポレオン・ボナパルトによって導入された統一国家試験である。選択肢問題はなく、長時間の論述形式の筆記試験になっており（たとえば、哲学は四時間の論述試験）、知識の量だけでなく、思考力、判断力、表現力といった高次の学力が問われる。バカロレアはフランスの教育制度のもっとも権威的な要であり続けてきたが、今回の中止によって、この制度が大学入学の手続きとして本当に適切なのかという疑問が生じている。バカロレアは民主的で平等な試験という建前だが、全員一律の筆記試験だからこそ、高校や居住地域、家庭環境などによる社会的な不平等に左右されるといふ問題が考慮されないのだ。

七月初旬、バカロレアの結果が発表され、九一・五%の学生が大学入学資格を認められた(落第者はわずか二・七%)。前年と比べると一三・七%もの増加で、史上最高の合格率である。その後、追加試験を経て、合計九六%の志願者が大学入学資格を得た。入学資格が大幅に増えたことで、大学への登録が問題となる。人気の大学や学科は定員超過で、これ以上学生を受け入れる余地はない。また、近年、大学入学資格者の学力低下が懸念されているが、今年とはとくにひどい状況が予想されている。またともにフランス語の読み書きができない学生、コンピュータを使用したことのない学生さえ大学に登録し、一年次の教育はさらに混乱するだろう。

4 新学期の授業再開

外出禁止令が解かれ、五月半ばから公共機関が開かれ、保育学校と小学校も再開された。六月初めには中学校と高等学校が順次再開されたものの、大学は閉鎖されたままであ

る。図書館や資料館は窓口業務に限って再開されたが、学生らのアクセスは認められていない。街では日常的な経済活動が戻っており、商業や観光、宗教、スポーツの施設が再開されている。カフェやレストランは賑わっているが、人々はマスクをさほど着用せず、社会的距離も遵守されていない。大学だけが閉鎖されて、学生が不利益を被っているという不公平さに対しては、日本と同様に、教員と学生の不満が募っている(ただし、フランスの大学は学籍登録料が年間五万円ほどと安価なので、日本のように、オンライン化にともなう学費返納の動きは起こっていない)。

ヴァイダル高等教育研究相は五月初めに、九月の新学期からの遠隔授業に向けた準備を進めるようにと発言した。全面的な遠隔授業か、あるいは、階段教室での講義の学生らを四つに分け、少人数の演習は二つに分けて、対面と遠隔の授業を混合する方法が推奨されるという。

大学評議会(ONC)は新学期からの対面授業再開の要望を発表した(「ル・モンド」紙二〇二〇年六月一八日付)。遠

東大連続講義

歴史学の思考法

重版出来!

東京大学教養学部歴史学部会編 A5判・本体2000円
東大生が入学して最初に身につける、社会を生きるための歴史学的思考法、全一二回オムニバス講義。社会人も必読の、教養としての歴史学。



世界ことわざ比較辞典

日本ことわざ文化学会 編
時田昌瑞・山口政信 監修
現代日本で常用されることわざを通して、世界25の言語と地域からことわざを集め比較。世界初の試み!
B6判・本体3400円

特設サイト
<https://www.iwanami.co.jp/proverb>



岩波書店

東京・千代田一ツ橋
(定価は表示価格+税)

<http://www.iwanami.co.jp/>

隔授業は集团的でも個別的でもなく、教員と学生の孤立を促進する方法であるため、あくまでも例外的な措置とすべきだ。教員と学生の直接的な対話こそが大学の生命であり、遠隔教育は大学の社会的機能を放棄することに等しい、というのが大学評議会の主張である。「大学とは交流の場である。授業とは演劇的な表現である。学術や科学の真理を大声で叫ぶわけでも、用意された原稿を無気力に読み上げるわけでもない。何かを伝達するにあたって、大学は誘惑し関心を引かなければならない。大学の眼差しは聴衆が無関心な状態を見破らなければならない。多くの学生たちは教員と自分たちのあいだに目に見えないスクリーンがあると信じている。大学を貶めてしまうそんな現実を認めてはならない。階段教室とは劇場だ。そのすべてが些末なことではない。集団とは大学の本質そのものなのだ。教師の決定や立場への抗議を示すべく、学生たちが自分の前に障壁となって立ちはだかっている、そんな不快な印象を教師が抱くとき、ときにこの本質は損なわれる。だが、一体感が生まれるとき、比類なき喜びが感じられる。階段教室の雑音は教育のリズムを刻む息遣いなのだ。」

新学期の混合授業の整備や新入生の支援のために、政府は六月半ば、新たな予算支援策を打ち出した。この「高等教育における混合化」プロジェクトはフランス国立研究機構によって実施され、大学単位での公募である。一〇〇〜五〇〇万ユーロ（約一三〇〜六五〇億円）の規模で生まれ

ており、七月初旬に締め切られて審査され、ただちに予算が配分される。この迅速な対応は日本のナショナルな大学行政にはみられないものだ。

感染状況を考慮して議論が続けられ、大多数の大学は二五〜五〇%の講義を遠隔で実施する予定だ。フランスの大学一年次の落第率の高さはかねてから問題になっていたが、二〇一八年度は学部一年生のうち二年生に進級できたのはわずか四四%だった。隔離生活で数ヶ月通学していない新入生がさらに遠隔授業を受けるとなると、さらに大量の落伍者が出てしまうのではないかと懸念されている。また、対面授業に関しては、社会的距離を一メートル保つこと、学生同士の交流を制限すること、建物や教室を適宜消毒することといったコロナ時代の規約は、通常の大学生活とは相容れないもので、多大な苦勞を強いられることになる。以上、フランスの大学の状況は日本と類似している点もあれば、相違している点もある。とりわけ、コロナ禍以前から明らかにになっていた問題をフランスがいかに解決しよう模索しているのか、私たちが大いに学んでいきたい。

本稿の執筆に際して、「ル・モンド」紙やネット新聞「メディアパール」などの記事を参考にしました。また、レンヌ第二大学の高橋博美氏には現地の情報をご教示していただきました。

特集＊大学教育・研究の現在——コロナ禍における各国比較

中国の大学事情——北京大学での教学経験を中心に

馬場公彦（北京大学外籍專家）

はじめに——コロナ禍での大学教育

新型コロナウイルスの感染拡大が最初に起こったのは、中国の武漢市である（武漢市が感染源であるかどうかのエビデンスはない）。中国で公式に武漢市当局が新型コロナウイルスの発生を認め全国に報道したのは昨二〇一九年一二月末で、日本での報道は年が改まった一月八日であった。

大学からは二月三日に、「停课不停学（授業を止めても学習を止めない）」の方針のもと、感染爆発以前から定まっていた学歴通り二月一七日から、既定の課程表に準拠して、オンライン授業によって、新学期を開講する通達が出された。三日の通達は、教育部が発した「防疫期間における大学のオンライン教育の組織と管理事業のための指導と意見」の一日前だった。北京大学では北京大学のそばにある北京燕鵬教育科技有限公司が開発したClassinというオンラ

イン教育ツールの活用が推奨され、多くの教員が大学のHPからインストールして使用した。

学生たちは大学封鎖や居住地のロックアウトを余儀なくされ、教師や学友と寸断され実家に封じ込められ、外部と隔離され、物理的なコミュニケーションが断たれた。彼らにとってオンライン授業の成否は、単に外出による感染リスクをなくすだけでなく、それまで保障されていた学びの日常を取り戻し、平穏な精神状態を持続するうえで死活的に重要なのである。

日本の大学関係者に中国の大学事情を紹介するにあたって、大学で生活する当事者の視点から、そのシステムや実情のいまを伝えたい。筆者の実体験は勤務先の北京大学に偏らざるをえないが、制度的な問題については臆断を避け、なるべく公式資料を援用する。

1 大学に入る——「高考」の試練

大学に入学するための条件は、言うまでもなく大学試験を受験し、志望する大学に合格することである。中国の場合、大学は初等中等教育レベル「小学・中学」に対して高等教育レベルの「高校」に相当し、大学受験は「高考（ガオカオ）（全国普通高等学校招生統一考試）」と呼ばれる、全国一斉に六月七・八日の二日間に涉つて行われる統一試験である。二〇二〇年の今年は新型コロナウイルスの影響で一カ月延期され七月七・八日に行われた。今年は史上最高となる一〇七一万人が受験しており（昨年より四〇万人増）、日本のセンター試験受験者が五五万人（入学者はほかにA.O.推薦入試枠があるため五九万人）であったのとは比較にならないほど規模が大きい。昨年の実績からすると、受験対象年齢の人口の六割が受験し、五割が大学に入学する。

今年の場合、七月二五日に成績発表があり、二七日から三一日まで志願書を提出し、八月中に合否が決定した。この志願書の記入が重要で、志願書提出の時点で各大学・学科の合格ラインは発表されていないため、過去の大学ごとの実績から分析し、自分の成績に照らして、なるべく高いレベルの大学を志願する。志望校を指定するにあたっては、将来の職業選択を念頭に置いた学科の種類を優先するか、大学ランクを念頭に置いた大学名を優先するかを見極める。複数校を志願することができるが、それでも希望校に合格

できなかった受験生で浪人生（「復読生」）となることを選ぶ学生は全国で百万人を超えるという。

中国の大学ランクを決めるのは、日本の偏差値や世評のような曖昧かつ流動的な指標ではない。重点大学の公認リストがある。一九九五年一月、国家計画委員会・国家教育委員会・財政部は「211工程」を公布し、二一世紀にむけた一〇〇の大学及び重要学科を指定し、〇七年から一年にかけて、重点的に資金をつぎ込み、設備や教育研究システムを充実させて、世界一流の大学を建設するプロジェクトが施行された。その後、九八年五月に、國務院により「985工程」という同様の国策が決議された。「985」で認定された三九の大学の本稿執筆時点での最新リスト（10頁表）を見ると、「211工程」の同最新リストの一六大学にはこの三九校がすべて含まれる。

いずれもトップに君臨するのは、北京市海淀区区内で隣接している清北で（清華大学と北京大学）、入学の難度もトップレベルである。「985」の三九校に入ってはいるものの、軍校であるためデータ秘匿によりランク表示のない湖南省の国防科技大学などは、学費全額免除や卒業後の就職に有利などの好条件により人気が高く、健康診断や政治審査などの合格基準は清北より厳しいという。

Gloscan（環球掃描）団体が推算した、大学合格点数ランキング（二〇二〇年版）によると、二〇〇八年から一七年まで過去一〇年間の第一次合格者の成績（点数）指数を高

得点順に並べた統計がある(10頁表)。こちらは受験生にとっての志望校ランキングと言つてよい。指数は総合・理科・文科に分かれ、文理科ともにトップは清華大学で第二位は北京大学が僅差で追い、第三位に理科で中国科学院大学が猛追している。この一〇位までのランクで中国科学院大学以外は「985」の三九校に入っている。中国科学院大学は理科系最大の学術研究機関である中国科学院直属の大学で二〇一二年に研究科のみで開学し、一四年に本科も設置された。新興大学であるため、「211」にも「985」にも登録されていない。以下のランキングにも三九校に含まれない大学が散見する。その特徴は、財経関係、語学系など、専門学科の人数度が大きい。さらに、全般的な傾向として、大都市に立地する大学が好まれる。

これらの名門大学の学歴があると、就職に有利であるばかりか、最低賃金にも響く。「985」の卒業生は本科(学部)卒で五〇〇〇—六〇〇〇元(一元卅一五円)、研究科(大学院)卒で八〇〇〇—一〇〇〇〇元と、これ以外の大学の

本科卒の三〇〇〇—四〇〇〇元に比べて有利である。北京大学では、多くの学生は本科卒のあと研究科に進学する。本科と研究科では就職後の給与に大きな開きがあるからだ。

2 大学で学ぶ——生活・社会・学習のすべてをキャンパスで

中国の大学でのキャンパスライフは日本と大差はない。入学が決まれば学費を納め、場合によっては奨学金を取得する。北京市の大学の場合、年額五〇〇〇元程度、理科五五〇〇元、医科六〇〇〇元程度で、碩士(修士)課程になると専門学位によって額は大きく開くが、外国語学院日本語学科の翻訳碩士の場合、年額五〇〇〇元と高額になる。日本と違うのは中国の大学は全寮制ということだ。一般的に中国の大学のキャンパスは広大な敷地を擁している。そのうち、宿舍の占める面積が相当ある。北京大学には四カ所に学生用宿舍がある。宿舍は相部屋で、本科生には四名、研究生は碩士(修士)が四名、博士が二名と進学するにつれて同居人の数が減る。寮費は宿舍のタイプによって異なる。

子どもたちが歩んだ過酷な歴史を知り、戦争の悲惨さを学ぶ!

戦争孤児たちの戦後史 全3巻

刊行中 各2200円
浅井春夫・川満 彰・平井美津子・本庄 豊・水野喜代志編

- ① 総論編
浅井春夫・川満 彰編 現代的観点から問題を考える姿勢を提示。
 - ② 西日本編
平井美津子・本庄 豊編 原爆、沖縄戦、引揚…。生きるための戦い!
- ※以下続刊 『内容案内』送呈

日本古代史を学ぶとする人に研究の魅力を伝える概説書!

テーマで学ぶ 日本古代史 全2冊

佐藤 信監修・新古代史の会編
【政治・外交編】【社会・史料編】
好評2刷! 各1900円

吉川弘文館
〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8
電話03-3813-9151 / 価格は税別

〈享徳の乱〉から〈大坂の陣〉まで、160年におよぶ戦国社会の全貌!

列島の戦国史

全9巻◆刊行中 各2500円
(企画編集委員)池 享・久保健一郎

- ❶ 享徳の乱と戦国時代
久保健一郎著 戦国時代の開幕を見とす。
 - ❷ 大内氏の興亡と西日本社会
長谷川博史著 変動する東アジア海域。
 - ❸ 室町幕府分裂と畿内近国の胎動
天野忠幸著 新たな社会秩序形成へ。
 - ❹ 毛利領国の拡大と尼子・大友氏
池 享著 西国覇権争いの新局面。
- ※以下続刊 『内容案内』送呈

われわれは宗教をどう理解し、いかに向き合うか?

日本宗教史 全6巻

刊行中 各3800円
(企画編集委員)伊藤 聡・上島 享
佐藤文子・吉田一彦

- ❶ 日本宗教史を問直す
吉田一彦・上島 享編
宗教の豊かな歴史を語る総説編。
 - ❷ 宗教の融合と分離・衝突
伊藤 聡・吉田一彦編
“在来”と“新来”との重層、対立、融合。
- ※以下続刊 『内容案内』送呈

中国大学合格点数ランキング (2020年版)

順位	大学名	類別	所在地	総合指数
1	清華大学	総合	北京市	0.998676
2	北京大学	総合	北京市	0.992252
3	中国科学院大学	総合	北京市	0.981114
4	復旦大学	総合	上海市	0.972003
5	上海交通大学	総合	上海市	0.970663
6	中国人民大学	総合	北京市	0.965066
7	中国科学技術大学	工科	安徽省	0.964816
8	浙江大学	総合	浙江省	0.955754
9	南京大学	総合	江蘇省	0.954097
10	北京航空航天大学	工科	北京市	0.947554
11	上海財經大学	財經	上海市	0.946427
12	同济大学	工科	上海市	0.945289
13	南開大学	総合	天津市	0.941481
14	对外經濟貿易大学	財經	北京市	0.940957
15	中央財經大学	財經	北京市	0.938573
16	北京師範大学	師範	北京市	0.937931
17	北京外国語大学	言語	北京市	0.934235
18	中山大学	総合	広東省	0.929421
19	上海外国語大学	言語	上海市	0.926394
20	西安交通大学	総合	陝西省	0.923975
21	中国政法大学	政法	北京市	0.923787
22	天津大学	工科	天津市	0.922576
23	武漢大学	総合	湖北省	0.9212
24	華東師範大学	師範	上海市	0.919845
25	厦門大学	総合	福建省	0.919301
26	東南大学	総合	江蘇省	0.917616
27	華中科技大学	工科	湖北省	0.917081
28	上海紐約大学	総合	上海市	0.916539
29	北京理工大学	工科	北京市	0.915786
30	哈爾濱工業大学	総合	黒竜江省	0.915207
31	北京郵電大学	工科	北京市	0.912705
32	山東大学	総合	山東省	0.910889
33	華南理工大学	工科	広東省	0.905065
34	西南財經大学	財經	四川省	0.903356
35	中南財經政法大学	財經	湖北省	0.895895
36	中国伝媒大学	言語	北京市	0.895857
37	大連理工大学	工科	遼寧省	0.894093
38	華東政法大学	政法	上海市	0.89393
39	西北工業大学	工科	陝西省	0.892679
40	北京語言大学	言語	北京市	0.892433

データ収録年度は2008-2017年、第40位まで
出典：華東師範大学社会調査中心 鄭春偉

中国「985」大学一覧 (2019-2020年版)

順位	大学名	所在地	志願者の 得点
1	清華大学	北京市	100
2	北京大学	北京市	95.2
3	復旦大学	上海市	91.6
4	上海交通大学	上海市	91.1
5	中国科学技術大学	安徽省	91.1
6	中国人民大学	北京市	87.8
7	北京市航空航天大学	北京市	86.9
8	南京大学	江蘇	86.2
9	同济大学	上海市	85.2
10	浙江大学	浙江省	84.2
11	南開大学	天津市	83.9
12	北京師範大学	北京市	82.7
13	武漢大学	湖北省	82.4
14	西安交通大学	陝西省	82
15	華中科技大学	湖北省	80.1
16	天津大学	天津市	80.1
17	中山大学	広東省	79.7
18	北京市理工大学	北京市	79.7
19	東南大学	江蘇省	79.4
20	華東師範大学	上海市	77.9
21	哈爾濱工業大学	黒竜江省	76.6
22	厦門大学	福建省	75.3
23	四川大學	四川省	74
24	西北工業大学	陝西省	74
25	電子科技大学	四川省	73.8
26	華南理工大学	広東省	73.4
27	中南大学	湖南省	73.2
28	大連理工大学	遼寧省	72.9
29	吉林大学	吉林省	71.9
30	湖南大学	湖南省	71.7
31	山東大学	山東省	71.3
32	重慶大学	重慶市	70.7
33	中国農業大学	北京市	68.5
34	中国海洋大学	山東省	67.5
35	中央民族大学	北京市	67.5
36	東北大学	遼寧省	66.5
37	蘭州大学	甘肅省	66.1
38	西北農林科技大学	陝西省	60.6
なし	国防科技大学	湖南省	なし

出典：大学生必備網

るが、年間七五〇—一二〇〇元と安い。

教職員もキャンパス内に宿舎を持つ場合が多いが、最近ではスペースが足りなくなり、キャンパス外に宿舎を建てたり、大学指定のマンションを安価で購入したりするケースも増えている。たとえ実家が北京の学生であつても例外なく宿舎暮らしである。筆者も大学に隣接して建つ広大な留学生・外国籍教員用宿舎に住んでいる。職住一体でコンビニや食堂も併設されていて快適である。

食事は三食とも学内の学生食堂で間に合う。教員向けの円卓をしつらえたレストランも三か所あるので、ゼミ会食や来客接待にも利用できる。購買部もあるので、書籍・文具ははじめ日用品は揃うし（ただし衣類は販売していない）、理髪店もある（一〇元！）。病院も併設されている。運動場やフィットネスクラブ（年間パスで一万円ほど）も利用できる。学内には記念講堂で連日連夜のように、コンサート・演劇・バレエ・映画など国内外の一流の芸術家を招いての催しが、格安の入場料で開かれている。これらの費用

および食堂での食費は、大学関係者に支給されるキャンパスカードに現金をチャージして支払う。チャージされたキャンパスカードさえあれば、キャンパスから外に出ない限り、キャッシュレス生活を維持できる。

授業のシステムも日本の大学と大差はない。年度の始まりは九月だが、一学期は一五回ほどで、最後に考試（試験）がある。一回の授業は一〇分の休憩を挟んで一〇〇分。北京大学では「傍聴（聴講）」自由で、各学術分野一流の学者たちの授業が学科を問わずフリーで受講できる。キャンパス内の建物は、**辦公楼（事務・研究室棟）**と**教学楼（講義棟）**に分かれていて、**教学楼**のほうはあらゆる学科の授業が相乗りで使われていることも、オープンな傍聴を可能にしてくれる。教室の規模も一〇名ほどのゼミ用から五〇

名は収容できるほどの盛況ぶりだ。学生にとっては一日の大半をキャンパス内で過ごし、飲食・娯楽・勉強・休息のすべてが完結している。しかも相

ウイルスの世紀

なぜ繰り返して出現するのか

山内一也 新型コロナウイルスを過去50年間に出現した新興ウイルスの系譜に位置づけ、ウイルスと社会の関係を俯瞰。¥2700

日ソ戦争 1945年8月

棄てられた兵士と居留民

富田武 「触れたくない敗戦史」ゆえに放置されてきた日ソ戦争(1945.8.9-9.2)の詳細と全体像。75年目に明かされる真実。¥3800

マーシャル・プラン

新世界秩序の誕生

ステイル 「最高の研究だ」P・ケネディ。冷戦秩序を形作った巨大計画の全貌を、新資料を駆使し描く決定版。小坂恵理訳 ¥5400

アウシュヴィッツ潜入記

収容者番号 4859

ピレツキ 自ら捕まったポーランド将校が3年弱、内情を外に伝え、収容者の武装蜂起を準備。脱出後の報告。杉浦茂樹訳 ¥4500

ゲーデルの悪霊たち

論理学と狂気

カスーノゲス ゲーデル文書解説を軸に、アリストテレス以来といわれる20世紀の天才の思考と心に迫る。新谷昌宏訳 ¥5500

パウラ・モーダーゾーン・バック

初めて裸体の自画像を描いた女性画家
ボイス ドイツ表現主義の先駆者であり、時代を拓いた女性画家の短くも大胆な31年の生を描ききる伝記。藤川芳朗訳 ¥8000

九津見房子、声だけを残し

斎藤恵子 治安維持法女性初の検挙者になり、ゾルゲ事件に連座。社会主義のために懸命に行動した知られざる人の生涯。¥3600

東京文京本郷
2丁目20-7 **みすず書房**
tel. 3814-0131 fax 3818-6435 (税別)
www.mszz.co.jp

部屋シヤウの同学シヤウ(学友)たちをコアに、同じ釜の飯を食う間柄の濃厚な人間関係が営まれている。

3 大学で教える——学生の知識欲と学科の建設に奉仕する

私の場合はこれまで教鞭を執った二期ともに週に一〇分授業を四コマ(本科生と研究生で二コマずつ)担当した。ほかの学科の老師ラオシ(教員)たちも同じほどの負担で、なかには一コマのみという教授も珍しくない。週に八コマは当たり前前の日本の大学事情に比べれば、授業担当の時間的負担はさほどではない。だからといって北京大学で教員に就いて教育が軽んぜられているかという点については、教育のことではない。おそらく教育・研究・行政のうちでは、教育をもっとも重視している教員の比率が多いように思う。

授業だけでなく毎回の宿題の添削や、質問にも丁寧に対応する。北京大学だけでなく、他の数校の大学での講義や講演の経験を踏まえて実感していることは、学生たちは知識に飢えている。授業内容には何でも食らいつき咀嚼し血肉化する。提出した課題もしっかりとこなしてくる。

彼ら「九〇后チウシツホム(一九九〇年代生まれ)」は、二〇〇一年の「入世ルンジュ(中国のWTO加盟)」後に人格と教養が形成された世代だ。世界から孤立せず、世界に覇を唱えず、世界の潮流を読み解き、時勢とともに進むという発想が顕著である。そうして生まれてこのかた、成長と発展の輝かしい成果と、威風堂々の国威に育まれてきた。世界の動きや仕組みを、

広く、精確に掴みたい、もっと知りたいという貪欲な知識欲に溢れている。その知識欲に奉仕するという心構えがなければ、大学の教壇には立ち続けられない。

北京大学では教員の休講や遅刻は厳しく戒められている。ただ日本のように細かいシラバスの作成を求められることはない。開講前に科目名・教員・教室が一覧になった課程表が配布されるだけだ。筆者の場合、授業内容やテキスト・副教材の選定など、全面的に担当教師の裁量に委ねられている。授業のライブは各教室にシつらえたカメラで主に安全管理の目的で一部始終モニターされているが、自身についていえば、過去の授業について何らかの注文や意見が外部から寄せられたことは全くない。

教員にとつての公務上のプレッシャーというと、授業や学生指導を除けば、多くの場合、自身の昇進と所属学科の地位向上であろう(これ以外に行政職や党務に当たる教員は政治・行政問題に頭を悩ませる)。両者の達成は、教員各位の学術研究の実績を積み重ねれば積むほど所属学科の評価は高まるという観点からすれば相乗的である。ところが実情は相反的であるのは、日本の大学事情と同様である。

ちなみに中国の大学には一五校で外国語文学学科が設けられており、筆者の所属する北京大学外国語学院は、教育部による最新の評価ではA+を獲得し、ランキングでは第一位であった。A+はほかに北京外国語大学と上海外国語大学の二校のみであった。

論文の数を競い、科研費プロジェクトをなるべく多く獲得し、学科外の機関との共同プロジェクトを動かし、シンポジウム（できるだけ国際的学際的な）をたくさん開き、さまざまな外部審査で高い評価を獲得することで、学科の評判は向上する。そのミッションが各教員に負荷をかけ、学科建设に時間と労力を取られ、論文の準備と執筆に費やす時間が削られ、しかも論文の掲載点数を稼がなければならぬとなると、論文の質は落ちていってしまう。

4 大学で研究する——「核心雑誌」の試練

大学教員にとつてのもう一つのプレッシャーである、職位の昇進事情について、北京大学に関していえば、目下三二〇〇名あまりの教員が在職しており、アメリカ流のテニユアトラック制（長聘制）が導入されている（側聞するところ他大学でも同様であろう）。北京大学の人事部が発行した最新版の「教員手帳（教師手冊）」に拠れば、教育・研究系統の教員の職位は教授（Full Professor）・副教授

（Associate Professor）・助理教授（Assistant Professor）に分かれ、教授はテニユア（チャレンジャー「長聘」）、副教授はテニユアと有期雇用（「預聘」）、助理教は有期雇用である。テニユアの場合は定年の六五歳までの雇用が保証されている。有期の期間は原則六年、学科の事情に応じて最大八年である。なお筆者のような外国籍教員の雇用についてはまた別の職位（外籍專家 Foreign Expert」と外籍教師 Foreign Teacher）」と雇用規定に基づく。

テニユアの職位を獲得するには、大学内に組織されたテニユア職からなる「専門家評価グループ」の審査、さらに大学外の複数の専門家による審査にパスしたうえで、大学のいくつものレベルの委員会の認定を経なければならぬ。申請にさいしてのいくつかの必須条件のうち、最も重要な「難度の高いものは、十篇／冊を越えない代表的學術論文」の提出であろう。そのさい、論文の學術的意義を認定するポイントは、その論文が學術的に權威ある「核心期刊（コア雑誌）」に掲載されたかどうかである。

好評発売中

●終戦七五周年記念出版
ニコライ・ヴィシネフスキー著／小山内道子訳、白木沢旭児解説
本體二八〇〇円税
樺太における日ソ戦争の終結
知取協定

樺太では一九四五年八月二日まで戦闘が続いていた。ソ連側の樺太侵攻への意図・戦闘全般・停戦交渉をソ連側兵士の証言と日本とロシアの史料や多くの写真で描く。

●支配と抵抗の物語として語られたフラの歴史の再構成
目黒志帆美著
菊判三〇頁本體七八〇〇円
フラのハワイ王国史
近代国家形成期のワイが置かれた社会的文脈と照らし合せ、王権の在り方とフラ規制法に込めた国王の意図を解明する。
監著
A5判二八八頁本體三五〇〇円

中国の体制移行と経済発展 第二版

建国百年へ突き進む超大国の夢と課題
大衆消費社会を支えるAI、ITの導入、スマート製造化、キャッシュレス化、5G技術など最新情勢を検証する。

御茶の水書房

〒113-0033 東京都文京区本郷5-30-20
電話03-5684-0751
http://rr2.ochanomizushobo.co.jp/

「コア雑誌」とは、學術レベルが高いと認定された雑誌のことで、テニユアや博論指導教授などの資格の取得、科
研プロジェクトの申請、研究機関の外部評価の際には、コ
ア雑誌での掲載実績が求められる。では何がコア雑誌とさ
れるのか。中国には北京大学図書館の「中文核心期刊」、
南京大学の「中文社会科学引文索引(CSSCI)」、中国
科学技術情報研究所の「中文科技論文統計源期刊
(CSTPCD)」など七種の選定システムに基づく雑誌リ
ストがある。雑誌を発行する機関の權威性、寄稿者の權威
性、それぞれの大学図書館・研究機関が収集した論文のビ
ッグデータから集計した引用率などを踏まえて、影響力の
大きい雑誌を専門学科ごとに一覧にする。リストの中身は
数年おきの再審査をへて改訂されている。

たとえば筆者の所属する外国語学院日本語学科の教員に
とっては、日本語学専門のコア雑誌は存在しない。そこで、
自作の論文の評価を高めるためには、掲載に当たって言語
学あるいは外国語学の分野から探すか、別の専門学科の雑
誌に発表するほかない。ただし、日本を研究対象とした上
記の条件に合致するコア雑誌には、『抗日戦争研究』『現代
日本経済』『日本文学刊』しかない。

おわりに——変わる大学、変わらぬ大学

中国の大学の実情について、入学・学習・教育・研究の
四つのフェーズに分けて体験的知見をまじえて紹介してき

た。中国は歴然とした学歴社会である。大学選びはその人
の進路や人生の命運を決めるだけでなく、その家族や一族
にとっても家系の名誉と実益に関わる重要な岐路である。
「高考」が現代の科挙と称されるゆえんである。

大学・学科・教員・学生間の競争はますます熾烈にな
っている。学生の授業負担はかなり大きく、北京大学では
一〇コマ以上受講し、科目ごとに毎回の宿題をこなす本科
生は珍しくない。全国各地から最優秀成績で入学したもの
の、学生間の激烈な競争で自信をなくし、精神を病む学生
も多いと聞く。教員は教育を最優先課題としながら、自身
の業績と所属学科の地位向上という課題にどうバランスを
取りながら取り組んでいけばいいかということに頭を痛め、
労力を費やしている。

「高考」は文革のさなかに一〇年間中断し、一九七七年
に復活した。その折に受験者は五七〇万人で合格者二七万
人、翌七八年は六一〇万の受験者に合格者四〇万人という
狭き門を潜って大学入学を果たした。そのまま大学教授と
なった人が、いま徐々に定年の時期を迎えている。教職員
の世代交代が進むなか、大学は大きな転機を迎えている。

世界一流の大学・学科を建設し、世界に伍していける教
員・学生を養成するために、伝統の良さを活かし、自由な
校風を重んじつつ、外に開かれた、切磋琢磨を怠らない校
風を涵養していったほしい。

特集＊大学教育・研究の現在——コロナ禍における各国比較

感染症とイギリスの人文学——歴史、スポーツ、演劇

本橋哲也（東京経済大学教授）

新自由主義とパンデミック

二〇二〇年、Covid19（新型コロナウイルス）による感染症の流行が止まらないが、歴史上「パンデミック」の原因はウイルスや病原菌の形態よりも人間社会の変容であり、またパンデミックの結果、社会も変容してきた。ハンセン病の流行は中世ヨーロッパにおける十字軍によって引き起こされたし、一四世紀ヨーロッパにおける「黒死病」の大流行は封建制度を崩壊させ、コロンブス到達以降の一六世紀の新大陸における天然痘や麻疹の流行はヨーロッパ勢力の植民地征服を可能とした。一九世紀の産業革命による工場の衛生環境悪化が結核を広げ、二〇世紀初頭の「スペイン風邪」の猛威は、世界大戦による兵士の動員が要因だった。エイズの流行も近代医学の発達とグローバルな新植民地主義の拡張と関わる。感染症はつねにすでに他者征服と

ともにあり、今回の新型コロナウイルス感染症の社会的要因が新自由主義的資本主義の進展であることは疑えない。

新自由主義とは世界の隅々にまで浸透した「経済効率化」のことであり、教育、福祉、介護、労働者保護といった「儲からない分野」への公金支出を縮減する。人の身体や精神と同様、社会も傷つきやすい存在であり、その保護には「冗長」で「余計」な遊びや溜めが必要だ。新自由主義は社会的身体の免疫力をかぎりなく侵食してきたが、それは「強制」よりも「合意」によって浸透する。政治学者のウエンディ・ブラウンによれば、新自由主義体制下で、市民は「犠牲の共有」を進んで受け入れる。経済的存在の支配が、私たちが持っている政治的存在としての潜勢力を破壊してしまっているのである。

感染症がもたらした現在の社会的な危機状況の中で、医療、流通、飲食といった人が生存していくための基本的な

インフラストラクチャーを支えているのが、新自由主義経済体制のなかで「余剰」で「臨時」と見なされてきた「ケア」や「非正規」の分野で働き続ける人びとであることは明白だ。彼女ら彼らは「テレワーク」や「恒常的収入」の余裕などないために、感染の危険も顧みずに働き続け、炎天下でも悪天候でも物流を支えている。南北アメリカ大陸や西欧諸国での感染症死者数の多さも、新自由主義体制下で医療や介護分野への公的支援を怠ってきたことに起因する。パンデミックは新自由主義的な資本主義と官僚主義の弱点を明らかにしたが、拙稿の主題は、身体と経済とに関わる二重の危機状況における人文学の役割を考えることである。

大学とアンラーニング

今回のパンデミックによって大きな影響を受けた分野に教育がある。教育は学ぶ、すなわち「真似ぶ」ことを基本として、人から人へと身体によって伝える、つまり「手伝う」ことを旨とするから、遭遇と密集と協働が欠かせない。感染症対策としての「社会的距離化」^{ソシヤルディスタンス}はそれを不可能にし、オンライン指導は教育方法を激変させた。ここで考えるべきは「学校」と「大学」の違いだ。学校は知識や技術の獲得と普及を目指す場所であって、古代エジプトや古代中国の時代から文明を発祥した全ての場所に存在した。「学び」「真似ぶ」の場である学校は、人間が自然を支配する文明への意志と欲望に貫かれている。対して大学は文明への意

志とは無縁で、人をそのような欲望から解放し、自然への崇敬に根ざす運動として中世に誕生した。大学とは獲得した知識を反省し検証し刷新する、すなわち「学び捨てる」場なのである。

中世ヨーロッパのペストは猖獗を極め、全人口の三分之一近くが亡くなったが、その危機に対処できなかった教会と封建領主の権力が失墜し、地域のロククダウンによって危機を脱したポロニーヤやパリ、オクスフォードといった都市に、互助的な学生と教員との「学芸協同組合」^{ユニバーシティ・ソサエティ}が誕生した。天界と地上、領主と小作人という生まれながらの差別に基づく文明の統治性がパンデミックによって崩壊したとき、身分や出自に基づかない自由な共同体の運動が育まれたのだ。そこで知識や技芸は金銭で交換されるものではなく、無償で伝えられ増殖した。

しかし大学はその後、ヨーロッパ列強による植民地主義の進展によって、文明と野蛮とを差異化する組織として国家によって領有されていく。現在世界中で同時多発的に増殖したBLM運動は、五世紀に渉る人種主義とジェンダー差別と階級搾取に対する根本的な異議申し立てである。その象徴的な営みが感染の危険を顧みずに街頭に出るストライキであり、コロナブスからチャイルに至る植民地主義者たちの銅像引き倒しだ。一九五〇年代から南アフリカの大学で続けられてきた「ローズを引き下ろせ」運動の帰結として、オクスフォード大学オリオル・カレッジのセシ

藤原書店

J・ミシュレ 民衆と情熱

大歴史家が遺した日記 1830-74 全2巻

1830~1848年 150年前、「地球史」を描いた歴史家がいいた。
大野一造編訳 翠川博之訳 6200円

評伝 関野寛齋 1830-1912

極寒の地に一身を捧げた老医

合田一 道 司馬遼太郎らが注目した波瀾の生涯、史資料に基づく決定版。生誕190年記念 2800円

内田義彦の学問

山田銳夫 戦後日本を代表する経済学者であり、「学問の思想家」を照射し、渾身の力でその思想の全体と格闘。 3300円

虚心に読む

書評の仕事 2011-2020

橋本五郎 長年、読売新聞書評委員を務める名コラムニストによる、書評集第二弾。 2200円

黒田勝雄写真集

最後の湯田マタギ

瀬戸内寂聴さん推薦! 雪深いマタギの里の暮らしや民俗に迫った稀有な写真集。 2800円

金時鐘コレクション

全12巻 X 真の連帯への問いかけ

「朝鮮人の人間としての復元」ほか講演集1
「在日」と「日本」を全身で問う。
解説：中村一成 [第6回配本]3600円

中村桂子コレクション

いのち愛づる生命誌 (全8巻)

6 生きる 17歳の生命誌

「生きる」を中心にする社会へ。
解説：伊東豊雄 [第5回配本]2800円

月刊 機

B6変32頁 6月号 №339
(特集「ウイリスとは何か」)
中村桂子 村上陽一郎 西垣通 鎌田慧
波照間永吉 / 中西進 / 宮脇淳子
米谷ふみ子 / 加藤晴久 氏。

年間購読料2000円(送料込) ◎見本誌・ブックガイド呈 *表示価格税抜
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町523
振替 00160-4-17013 TEL 03-5272-0301
ホームページ <http://www.fujiwara-shoten.co.jp/>

〈パブリック・ヒストリー〉による歴史の解放

一九七〇年代から英国とアメリカ合州国の歴史学では〈パブリック・ヒストリー〉(以下、PH)と呼ばれる運動が関心を集めるようになった。その要因としてはまず、大学の歴史教育のあり方が挙げられる。この時代は各国において世界大戦後の「ベビーブーム」によって増加した入学

ル・ローズの銅像もこの六月、学生たちの抗議運動によって除去が決定された。英国によるアフリカ侵略の立役者であったローズがオクスフォード大学で現在に至るまで顕彰されていた事実は、大学が国家によって拉致されてきた歴史を証するものだろう。今回のパンデミックがどんな社会変容をもたらすのか、以下では、大学を文明開化と植民地主義への抵抗の場として捉え、歴史、スポーツ、演劇という三つのジャンルにおいて、新自由主義が「教育効率が悪いい」として標的にしてきた人文学の「ポスト・コロナ状況」における可能性を考えてみたい。

PHでは、専門的な歴史学者による学問的な歴史だけでなく、一般大衆の日常的な歴史的営みに注目し、口承や伝承、習俗や記憶、感情や身体経験などが歴史実践の場とされる。これには、一九七〇年代から英米の大学で伸長したカルチュラル・スタディーズやフェミニズム、反人種主義、マイノリティの権利拡充といった動向も影響を及ぼした。歴史をあらゆる人びとが持っているはずの過去に対する認知の形態であると考えることによって、PHは一般大衆の日常のなかで実践されている歴史を掘り起こそうとする。PHでは、民衆史やオーラルヒストリー、記憶やメディア論だけでなく、大衆向けの雑誌や小説、児童文学、映画、祭礼、演劇、日記や地域伝承といった題材が歴史学の対象とされる。また歴史に対する「権利」の問題に

ついで、伝統的な歴史学では歴史の「信憑性」を判断するのは歴史研究者であり、オーラルヒストリーでも主体は研究者で、聞かれる側は客体とされていた。しかしPHでは歴史に対する権限が等配分され、オーラルヒストリーの対象者は受動的な聞かれる側から能動的な語り手となる。さらにPHにおける大衆の過去に対する知識は、国家を単位とする教科書的な歴史ではなく、地域共同体や家族を単位として得られた過去認識によって形成される。PHは歴史学を大学という閉じられた空間から解放し、多様な人びとの歴史実践に注目することで、人文学を学際的な知の運動として再活性化するのである。

〈ポスト・スポーツ〉による身体の再発見

ミシエル・フーコーは『監獄の誕生』で、ヨーロッパの近代の社会制度を支えたのは学校や兵営、工場のような閉鎖的空間で、他者の「視線」を内面化していく「パノプティコン」型権力による規律訓練された従順な身体であると論じた。この議論をスポーツする身体に援用した多木浩二は、一八世紀から一九世紀に英国で成立した近代スポーツが、人工的に馴致された身体によって担われたと言う。スポーツ選手は、指導者や観衆の監視するまなざしを自ら内面化することで、自発的に厳しい練習に耐えて目標に見合うように身体を改造する。近代スポーツを担う身体が産業資本主義や植民地主義の尖兵を育成する場所での身体をモ

デルとしたことは、多くのスポーツ競技が植民地帝国であったイギリスの学校、とくに「パブリック・スクール」と呼称されていたエリート階級の子弟を育成する教育機関で制度化された歴史と呼応する。近代スポーツは英国の植民地拡張とともに、「パブリック」を支配するために自己規律する身体を世界中に伝播していったのである。

だが英国の「パブリック・スクール」を淵源とする近代的なスポーツの身体は、IT・AI技術を含むテクノロジーの進展と、SNSをはじめとした情報グローバルゼーションによるコミュニケーション能力の拡張によって、「ポスト・スポーツ」(以下、PS)と呼ばれる新たな身体性へと急速にシフトしている。山本敦久によれば、この動向は二つの傾向によって代表される。ひとつは「ビッグ・データ」を活用して、選手の個性性を分解し、集積されたデータとして組み替える方向で、これが現在の巨大産業化されたスポーツイベントを支える身体となる。ここでのスポーツする主体は、データを提供する選手でも、それを消費する観客でもなく、絶えず更新を余儀なくされるデータそのものである。これはフーコーや多木の言うような新自由主義的監視身体から、ドウルズが注目するような新自由主義的資本主義下の「制御される身体」への変化と軌を一にする動きだ。そこでのキーワードは「デイシプリン」ではなく「コンプライアンス」であり、PSの身体は日常生活全般、食事から睡眠、情動から家庭環境まで管理されるのである。

PSのもう一つの動向は、商業主義的グローバリゼーションによってメガイベント化するスポーツの傾向に抗して、人種・ジェンダー・階級による差別や、ナショナリズムへの批判を前景化する「ソーシヤルなアスリート」たちの登場である。彼女ら彼らにとつて、PSとは肥大化した欲望と金銭の増幅装置ではなく、支配的なアイデンティティや支配関係から離脱し社会的正義を訴える場なのである。

英国で国家的アイデンティティの中核をなすとされるプレミア・リーグのサッカー試合では、パンデミック後に無観客で再開された全試合開始前に、BLM運動に共鳴して、全ての選手やスタッフが膝をつくパフォーマンスが行われてきた。そこにもパンデミック状況下のPSのひとつの可能性を見てとれるが、翻って日本の状況はどうか？ 私たちが現在のコロナ危機のなかでなすべきなのは、オリンピックのような祝賀資本主義のスペクタクルが、新自由主義体制の延命手段として利用され続けることを阻止するため、PSにおける身体の情動と営為に思考を深めることだ。

そのことだけが、何世紀にもわたる「英国発祥のスポーツ」という植民地主義の遺産を葬り去る回路を拓くはずである。

〈ポスト・ドラマ〉による身体の多様化

近代スポーツと同様、近代リアリズム演劇も英国が遺産を誇ってきた分野のひとつだろう。そこには英語を介した身体と言葉の教育による植民地主義を世界中に伝播してきた帝国主義を背景として、アレクサンダー・テクニークのような演技法を教える高等教育機関としての演劇学校が、優れた演劇部を擁する大学とともに、世界の舞台で活躍する俳優・演出家・制作者を育成してきた歴史がある。パンデミックが「距離化」を要請する状況下で、世界中で演劇公演は自粛を余儀なくされているが、そうした〈ポスト・ドラマ〉（以下、PD）とも言うべき状況で、距離化を異化作用として中心的技法としながらも、人の身体と情動の密接性をよりどころとしてきた演劇はどんな役割を担えるだろうか？ 近年PDも二つの意味を担っている。ひとつ

マルクス 古き神々と 新しき謎

失われた革命の
理論を求めて

マイク・デイヴィス 著
佐復秀樹 訳 宇波彰 解説



マルクス、エンゲルスの思想に立ち戻り読み直し、地球環境危機の進む現代における新たな変革を追究する。

四六判 / 3200円

サイバー ハラスメント

現実へと溢れ出す
ヘイトクライム

ダニエル・キーツ・シトロン 著
明戸隆浩、唐澤貴洋、
原田學植 監訳 大川紀男 訳



ネット上のヘイトクライムを広く対象とし、仮想空間／現実空間の境界の消失点を見定めた名著の邦訳版。

四六判 / 4500円

香港の歴史

東洋と西洋の
間に立つ人々

ジョン・M・キャロル 著
倉田明子、倉田徹 訳



植民地初期から中国返還までを描いた、香港の本格的通史。香港の歴史を知るための基本となる一冊を邦訳。

四六判 / 4300円

明石書店 〈価格・税別〉
図書目録送呈
東京都千代田区外神田6-9-5
Tel.03-5818-1171 Fax.03-5818-1174

は「ドラマ」に重点を置き、戯曲よりも役者や観客の身体性のような多様で蓋然的な状況を重視する。英国ではサラ・ケインの演劇が代表格だろう。ここで取り上げるのもうひとつの意味で、「ポスト」という接頭辞から、演劇が近代世界において果たしてきた政治的役割を文化の力学から見直そうとする傾向だ。演劇実践も他の文化的営みと同様、パンデミックによって根底的な再考を促されざるを得ないからである。

感染症の流行下でのマスク着用が文化的な考察を促しているが、反植民地主義の文脈で素顔を隠す「マスク」問題を分析したフランツ・ファノン¹は被植民者の固定された心理分析に異を唱え、よりニュアンスに富んだ抵抗者としての黒人像を描き出した。「仮面」の本質は隠蔽と暴露という二面性にあるのであって、そう考えれば古代ギリシャ以来の演劇実践が仮面の装着を基本的技芸としてきた事情が納得されるだろう。演劇が身体による情動の喚起の営みである限りにおいて、そこに「安全な距離」²は存在しない。「残酷演劇」の提唱者であり「ペスト」としての演劇を実践したアントナン・アルトー³が言ったように、演劇は「人間たちを駆り立てて自分たちにあるがままの姿を見させ、仮面を剥ぎとり、嘘や、無気力や、偽善を暴く」からである。演劇とは「パンデミック」そのものであって、「自分たちにあるがままの姿を見させ」るためにこそ「仮面」を着けることで仮面下の真実を想像させ、感染により

「距離化」⁴「異化」を可能とするのだ。今回のパンデミックによる一種のモラトリウム状態が商業化と保守化傾向の著しい英国劇壇に反省の契機を与えたことも確かであり、例として、政治色の強い新作上演で一九六〇年代以来、英国劇界の前衛であるロンドンのロイヤル・コート・シアターの試みを取り上げよう。

ロイヤル・コートは劇場閉鎖中も、新作のライブ配信だけでなく、ジョージ・フロイド殺害によって再燃したBLM運動に連動して、六月二四日に「反差別——反省と行動」と題した長文のメッセージを発信した。そこでは、英国演劇界全体が組織的な人種主義の責任を負うとされる。BLMによる変革要求は、警察、司法、学校、大学、メディア、文化全般にわたる英国の社会機構に染み付いた黒人共同体特有の痛みに基づくのであって、人種主義は公的私的機関の政策に存在している。人種主義の生みの親は英国の帝国主義と産業革命による白人至上主義であって、演劇の目的はその歴史の検証にある。黒人社会の出身者が演劇界だけでなく、様々な文化組織で指導的地位に就くことで、植民地主義的カリキュラムの解体が期待されるのだ。このようなPDの実践こそは、劇場の内外で偏見の解体と社会組織の改変を促し、社会正義と機会平等の場としての演劇が、人文学の多様性に直結する営みであることの証左であろう。

特集＊大学教育・研究の現在——コロナ禍における各国比較

韓国人文系大学博士課程の研究生活

影本剛

(延世大学博士課程・ソウル科学技術大学非常勤講師)

私はソウルの延世大学国語国文学科の修士・博士課程に一年半在学し、朝鮮文学（とりわけ日本植民地期の小説）を研究した。この夏に学位を取って卒業する。韓国の人文系大学院生兼非常勤講師で日本語で書ける人は希少だと思うので、本稿では韓国の大学状況に興味ある方だけでなく、これから韓国の大学院に留学しようという稀な方にも役立つような話を、個人的な経験も含めて書きたい。第一に研究について、第二に非常勤講師の位置を含めて生活と経済的問題について紹介する。また第三にスユノモという研究共同体を通して「大学」の外でいかなる学びがあったのかを、最後に新型コロナウイルスという状況における私の研究、生活、教育について書きたい。本稿を通して二〇一〇年代後半の韓国において人文学を研究する条件が見えてくるだろう。

1 研究について

韓国の大学には「ゼミ」がない。しかし韓国の大学は大学院・学部ともに授業が週に三時間であり、膨大なテキストを読みこむ。大学院の場合、読むテキストが少ない授業（いわゆる「楽な」授業）を取ると単位は取得できるが論文をなかなか書けない。私の場合、指導教授の開講する授業が個人全集や雑誌復刻版を一学期で読破するという「きつい」授業だったので、それについていくことが勉強のリズムになった。授業形態を具体的に言えば、本一冊分くらいの資料を毎週読んでいき、授業時には発表担当者がA4用紙五枚から一〇枚ほどの発表文（レジュメ形式ではない）を読み上げる。その後教員と学生たちがコメントをし議論をする。そして休憩を挟んだ後も三時間みっちり議論を続け、お開きになる。私は単位取得後も指導教授の授業を聴

講し、議論し、批判され、また読み直し……という反復を通して一年に一本から二本の査読論文を書くことができた。授業で通読した作家は、李光洙、李孝石、金南天、蔡萬植、朴泰遠であり、雑誌は『創造』、『廃墟』、『白潮』、『靈台』、『博文』である。指導教授以外の授業では、朝鮮民主主義人民共和国の文学を購読したり、植民地期の映画論争の原資料を購読したりした。文学研究の第一線にいる教員たちが単行本著書を作るために既発表論文と分析した文学テクストを毎回購読していくという形式の授業もあり、単行本誕生の過程に参加する機会も得た。また、私は在学した学科の各教員と負担なく交流することができた。別大学では一度指導教授を決めると別の教員やその指導学生と疎遠になるということもあるようだが、そのような困い込みがなかったという点も自由な研究をする環境であったと言える。

個人全集や雑誌復刻版を読む勉強会も他大学の院生・修了生たちと組織した。ここでは廉想渉、林和、金基鎮、朴英熙、沈薫、李箕永、池河連を、雑誌は『朝鮮文壇』、『朝鮮之光』を読んだ。そもそもこのようなテクストを対象にした読書会は韓国以外では成立しがたいと思う。私は基礎的な読書量が不足していたが、全集や雑誌復刻版を読むことで自分の議論の自信になり、博士論文まで到達できた。教員たちと共に日本語書籍を韓国語に訳す勉強会もした。その結果、勉強会のメンバー共訳で『プロレタリア文学とその時代』（栗原幸夫著）の韓国語訳を刊行することができ

た。教員たちからは韓国語訳文を作り出す生き生きとした技術を学ぶことができた。教員たちと同じ世代の日本やアメリカ合衆国の研究者が時折遊びに来ることもあり、韓国の学会よりも広い視野をもった議論に触れることができた。勉強会は、一人では通読できない量のテクストに触れていくリズムになってくれ、時折現れるそのリズムに合流しようという人との出会いの場でもあった。

投稿論文の査読は有益なコメントを得ることのできる機会だった。どのようにしたらこの論文がより明瞭になるのかという助言的な内容も多かった。しかし日本文学に関する論文を韓国で投稿したさいには、テーマと全く関係ないコメントしか得られないという経験もした。

2 生活（経済）と非常勤講師の位置について

私は学費と生活費が支給される韓国政府の奨学金を受給したおかげで研究に集中する時間を確保できた。またBK（ブレイン・コリア）という韓国政府の競争的資金（個人ではなく学科に分配される）を在籍学科が獲得したので、私も何度か奨学金を受けとることができた（私の在学時は一学期六〇〇万ウォン）。奨学金を受けるためには点数化された「業績」を稼ぐ必要がある。海外で行われる学会参加が一点、国内査読論文が一点、というふうなのだ。そのために海外学会に頻繁に出かける院生や（航空券代はBK事業から補助される）、大量の論文を生産する院生もいた。また査

読論文は落ちる可能性があるが海外学会の場合は発表すれば業績になるので、論文よりも海外発表を愛好する院生もいた。ハゲタカ学会、ハゲタカジャーナルに業績を稼ぐための韓国の研究者がこぞって参加した問題は日本でも類似した事例があるだろう。私の専攻した朝鮮文学研究の場合、国際学会よりも韓国内の学会の方が重要なコメントや批判を得られると思うが、「点数」は国際学会の方が上だ。私は政府奨学金のおかげでBKの「点数」に拘ることなく国内学会にも出かける余裕があった。

私は未経験だが、韓国人の院生たちは「助教」という事務補助によって奨学金を得る（賞金ではなく奨学金名目なので労働者扱いされない）。「助教」の役割は、教授の補助（奴隸的労働を強要する教員もいるし、期末試験監督など以外ほぼ何もさせない教員もいる）や学科事務室での行政的業務だ。また人文系の博士課程院生の場合、全学規模の学部生教育であるアカデミック・ライティングのTA業務も「助教」という位置づけで担当する。これらの業務を二つほど担当することで、学費相当の奨学金を得ることができると。これに加えてBKの奨学金を得れば学費負担無しプラス月一〇万ウォンほどの収入になり、追加でアルバイトや大学内の仕事をすれば月に一五〇万ウォンから二〇〇万ウォンの収入になる。経済的余裕のない院生であるほど研究時間が削られるという悪循環があり、割のいい仕事を回してくれる「先輩」を持つ院生が多くの「助教」を得るという悪弊

もあった。

工学系の院生たちは教員たちのパワハラに対処するため、「金博士ネット」という会員制サイトを通して各大学各教員のパワハラ情報を共有している。また二〇一八年に結成された大学院生労組は、院生を労働者扱いせずに搾取する大学の構造に問題提起をしている。

二〇一九年八月に改正施行された韓国の高等教育法は、別名「講師法」と呼ばれ、内容は非常勤講師の地位を労働者と認めさせるものだ。この法に対し、権利を持つ労働者が増えることを嫌う各大学は、法施行以前に非常勤講師を首切りし、それ以降は講師を雇わないことをもって対抗した。授業数が減り、必修授業の席を確保するために学生たちの中で席の売り買いも行われた。また講師法によって公開採用が原則になり、知り合いを通して講師を採用するということができなくなった。公開採用の事務的負担を減らすために、多くの大学で応募条件に博士号を要求することも生じ、人文系の院生にとって学位論文を書くまでの生計手段である非常勤講師という立場がかなり困難になった。博士号を持たずに長年非常勤講師をやってきた人々にとっても大打撃だった。

私は何とか採用されて文学入門的な教養授業を担当した。本を読んだことがない学生たちに文学作品を読んでもらう授業である。また学生たちが受験までに受けてきた文学教育（正答は一つしかない）を壊すことも目標にした。有名

な古典もフェミニズムの観点から読み直せば男性中心であることが多く、そのような読解は学生たちにも届いたのかもしれない。私が韓国で大学教育に携わって最も不快だったことは兵役関連の書類を書く時だ。徴兵検査や入隊などは公欠処理になる。二〇歳前後の学生の自由な発想のための授業をしているつもりではあったが、その正反対の書類を作成しなければならぬのは、全く慣れることのない作業であった。

3 「大学」の外の学び——スヌノモについて

制度外の研究コミュニティであるスヌノモにはよく遊びに行った。朝鮮文学以外の勉強はここを通して得たと思う。哲学や物理学をはじめとして、医学や暗号学についても話をたくさん聞いた。勉強会をしようといえば、ちゃんと毎週各自が該当テキストを読んできて議論する準備ができているという集団は稀有であろう。勉強に対する密度と意欲は大学院以上だと思つた。私はスヌノモでレーニン勉強会やヴィリリオ勉強会をした。

また、研究成果を査読論文ではなく一般向け講義、そして書籍で公表するスタイルも開かれた知の志向性を確認させてくれる。スヌノモで開かれる講義の多くは、後に書籍として出版された。私が翻訳した李珍景『不穏なるもの存在論』は、原著出版の一年ほど前に同内容で行われた講義が元になっている。そこで出会った人々と数年にわた

る作業の果てに、共訳で金時鐘詩集『失くした季節』と『猪飼野詩集ほか』を刊行することができた。日本各地の研究者・活動家たちも時折スヌノモに遊びに来て、そこで色々な話を聞くこともできた。

私が韓国にいる間、スヌノモではコミュニティのあり方をめぐる分裂や内部で提起されたMEIO事件の対処方法による分裂などの出来事があったが、私は会員ではなかったので深く関与することはなかった。スヌノモを日本語で検索すると「スヌノモン」「スヌノモR」「スヌノモ104」などいくつかの名称が出てくるが、これは分裂後に集まった人々が名乗りなおした痕跡である。私は、スヌノモから分裂した西橋洞人文社会研究室でもラクラウに関する講義を聞いたり、勉強会の場所として研究室を使わせてもらったりした。

4 コロナ下の韓国大学

韓国は新学期が三月からで日本より早く遠隔授業が開始した。また学期開始早々に学期全体を遠隔授業で代替することが決定した。大学によっては少人数の演習は対面授業が行われた場合もあると聞が、ほぼ全ての授業がオンラインで行われた。学生たちは既に大学付近の下宿を引き払ったなどの理由で遠隔授業を続けることを望んだ。

延世大学図書館は時短体制で開館した。おかげで院生や教員たちの研究が滞ることはなかった。外国書籍の新刊も

スムーズに到着した。他大学では予約と郵送で図書館を運営した所もあった。学食も賑わっていた。

私のオンライン授業は、毎回異なる小説をお題として提示し、それに対して自由に問題提起する課題を学生に提出してもらった。私が学生の問題提起に一つ一つ答えていくラジオ番組方式である。時にはある学生の質問に対して別の学生がすでに答を出してくれている場合もあった。また、別の学生の意見を讀んで、自分より別の学生の方が賢く見えて自分の無能さに自信を無くした、という学生も結構いたのだが、その学生に対しては「他人がえらく見えるのは普通だ」という風に、授業とは関係ない質問に対してもなんでも応えた。特に学生がコロナウイルスの諸事例に関して差別的発言（とりわけ外国人差別が多かった）をコメントしてくる時は、授業の筋から逸れてでも時間を取って対応し、「韓国国民」の常識で語ること自体がいかに差別的認識になりうるのかを議論した。

伝染病に関するテキストを読むのがリアリティがあるだろうと思ひ、教材の一つに開高健の「パニック」を取り上げた。多くの学生が「まさに韓国の現在を描いているようだ」と評価し、予想外の人気があった。コロナウイルスに対する大量の言葉があふれているにもかかわらず、全体的に把握する議論が無い中で、官僚や市民たちの複雑な利害関係を明瞭な見取り図として見せてくれるという点に学生が「パニック」を支持した原因があるのではなからうか。

私が授業をした大学の新入生の一人にネット上の性搾取事件である「n番部屋」に関わって逮捕された学生がいた。今年は新入生が登校する機会が一度も無かったので、学生たちは彼と直接対面をしたわけではないが、報道後に落ち着かなさを表面する学生が何人かいた。オンライン授業でも小説の読解に対して議論することは可能であるし、外国語の点数や資格試験など、一つの到達点に向かうことならば充分達成可能であろう。しかし実際の性搾取・性暴力事件に対して議論する際には、まずお互いの信頼関係がなくてはならない。オンラインでそのような話をする信頼関係をつくれるのかどうかは、大きな課題であろう。しかし本当に困難な出来事に対して、ともに思考し悩んでくれる友と出会うオンラインの手法は、私が知らないだけで学生たちは実践しているのかもしれない。

非常勤先の教務からは出席末チェック科目リストがエクセルで送られてきた。私の授業はしつかりと網掛けされていた。最終的に問題提起の課題を提出した学生に出席処理をした。さらにコロナウイルスの影響で絶対評価になったので（韓国の大学は相対評価である）、際立って不誠意なレポートを出した学生を除いてインフレ的にA評価やA+評価を出した。学期中盤に成績評価が絶対評価に決定したさい、一点を争うための消耗的评价は一切しないと学生と約束したからだ。教務からはA以上を四〇％ほどにせよとメールが来ていたような気もするが、学生との約束を優先させた。

大学出版部ニュース

表示価格は税別です。

大学出版部協会・活動報告

五月二十九日(金)

一三時三〇分～一五時一五分

二〇二〇年度 定時社員総会

第一回 理事会

於：ZOOMでの開催

六月五日(金)

一四時〇〇分～一五時三〇分

営業部会主催

第一回オンラインセミナー

『With/After コロナの専門書出版業界』

講師：秋田智之(大学生協事業連合)、
その他全国の生協職員

六月二十六日(金) 一五時三〇分

第二回 理事会

於：ZOOMでの開催

七月九日(木)

一四時〇〇分～一五時三〇分

営業部会主催

第二回オンラインセミナー

『書誌情報はどのように流れるか』

AJUP サイト、データベースの利用方法
法々 BooksPro 2020』

講師：石塚昭生(版元ドットコム)

七月三十一日(金) 一五時〇〇分

第三回 理事会

於：ZOOMでの開催

北海道大学出版会

▼植田暁著『近代中央アジアの綿花栽培と遊牧民―GISによるフェルガナ経済史』(A5判・三一〇頁・七五〇〇円)

地理情報システムを活用し、中央アジア・フェルガナ地方のロシア帝国併合からソ連初期までの経済構造の変化を分析。

▼小林宣道監修・鷲見紋子・大友詔雄編『時間感染症学』(B5判・三四四頁・八五〇〇円) 将来の流行の時期と大きさを予測することを目的に、様々な感染症につき時系列解析を用いて行った変動構造

分析の研究成果をまとめた。医学・生物学の研究者、医療・行政機関の必携書。

▼相原秀起著『追跡 間宮林蔵探検ルーツ―サハリン・アムール・択捉島へ』(四六判・二二八頁・二五〇〇円) 間宮林蔵の足跡を追いかけ、北のシルクロードを探る。そこで見た北辺の地に生きる人々の姿と大自然を描いたルポルタージュ。

▼三島徳三著『新渡戸稲造のまなざし』(四六判・二二〇頁・二二〇〇円) 「知の巨人」を、教育者・啓蒙思想家、農学・農業経済学者・愛国者・国際主義者という三つの側面から照射し、その現代的意義を探る。

義を探る。

弘前大学出版会

▼嶋昭紘監修 柏倉幾郎編著『福島に学ぶ放射線総合科学の展開を目指して』（A5判・一七〇頁・一五〇〇円）福島県内の避難所での支援活動や現地で多様な学術活動に精力的に取り組んできた研究者たちの活動記録。さらには弘前大学で放射線科学分野の国際拠点化が進んでいる現状を紹介している。



▼弘前大学出版会編『弘前大学レクチャールコレクション 学びの世界へようこそ』（A5判・三〇七頁・一六〇〇円）大学ではどんなことが学べるの？どんな授業をしているの？やさしくわかりやすい語り口で、バラエティーに富んだテーマから大学で学ぶことの楽しさを紹介している。



東北大学出版会

▼野村啓介著『ヨーロッパワイン文化史 銘醸地フランスの歴史を中心に』（A5判・二四二頁・二二〇〇円）「ワインという飲料を切り口に、ヨーロッパ文化の諸相を歴史学的に考察し、またそのような作業をつうじて歴史的考察力を養うことが可能になるのではないか」（はじめに「より」）。古代から現代にいたる欧州史をワインを軸に駆けめぐり、歴史的背景をおさえながらヨーロッパ文化の真髄ともいえるワイン文化のダイナミックな展開に迫るユニークな歴史書。初学者の理解に資する工夫が凝らされつつも、最新の研究成果に裏づけられた解説も要所に散りばめられる。歴史ファンやワイン愛好家のみならず、欧州史学徒にとっても必読の書である。

▼石川洋著『力学入門』（A5判・一一〇頁・一〇〇〇円）大学の理工系・生命科学系の学生を対象とした力学の入門書。高校で物理を履修しなかった学生や大学で物理を専門としない学生でも無理なく学習できるように、内容を基本的なものに絞り込み、少ない時間で力学の基礎が身につくことを目指している。

流通経済大学出版会

▼尹敬勲著『第4次産業革命と社会教育』（A5判・一八六頁・三〇〇〇円）第4次産業革命の余波で機械と人の雇用をめぐる戦いが本格化している。労働者が生き残るために必要な「変化を先取る」学びとは。



▼幸田麻里子／臺純子著『会いたい気持ち動かすファンタリズム―「韓流」ブームが示唆したもの、「嵐」ファンに教わったこと』（四六判・一八〇頁・九五〇円）憧れの俳優、応援するアイドルのコンサートやイベントに参加するために移動するファンタリズム…本書はこれを詳細に分析し、こうした現代的な観光に迫る。



聖徳大学出版会

▼塩美佐枝・古川寿子・重安智子・井口厚子・関口明子著『教職実践演習―幼稚園教諭・保育士・保育教諭を目指すために』（B5判・一四〇頁・一六〇〇円）
幼児教育に携わるために学んできた総まとめとして、いじめ、食育、特別支援教育や、幼・小連携、家庭や地域との連携の大切さを具体例を挙げて説明。総合的な実践的指導力の基礎を修得できる一冊。
▼宇佐美博子・河村久・神田由紀・黒須利夫・小林芳枝・長橋雅俊・松井孝夫・八木正一著『教職実践演習』（B5判・一四六頁・一六〇〇円）
中学校・高等学校教諭を目指す方に向け、教職課程の振り返りから生徒指導要録・通知表の記入の仕方まで解説。教職の魅力が満載の一冊。
▼高橋裕樹著『新しい時代のキャリアデザイン―自分の人生を自ら描くために』（A4判・一六七頁・一六〇〇円）
全十五章構成で、記入式ワークシートを使いながら、キャリアデザインの基本から応用まで段階的に理解を深める。「なぜ働くのか」を問いかけて、一人ひとりが激動の時代を乗り切り、力強く生きるための人生の羅針盤となる書。

慶應義塾大学出版会

▼佐藤朋彦著『家計簿と統計』（四六判・二二四頁・一六〇〇円）
千差万別の各家庭の消費も、集めて統計化すると日本全体の「時代の傾向」が見えてくる。高齢層で高いマグロと牛肉の消費、沖縄県でさらにネット上での様々な数字の探し方なども学べるおもしろ数字読み物！
▼パメラ・サカモト著『黒い雨に撃たれて―二つの祖国を生きた日系人家族の物語』（四六判・上下巻、各二五六頁・各二五〇〇円）
米国陸軍大佐、ハリール・フクハラとその家族が辿った波乱の生涯を中心に、日米開戦によって二つの祖国のあいだで身を引き裂かれた日系人の生を鮮やかな筆致で描く歴史絵巻。
▼戸谷洋志・百木渙著『漂泊のアーレント 戦場のヨナス―ふたりの二〇世紀ふたつの旅路』（四六判・三六八頁・二〇〇〇円）
盟友として、ユダヤ人として二人が対峙した「二〇世紀」を評伝的に辿り、その思想的連関を考察する。二一世紀に迫りくる「全体主義」と「テクノロジ」の脅威に備えるための一冊。

専修大学出版局

▼陳浩博著『中国消費者のネットショッピング行動』（A5判・三二六頁・三四〇〇円）
情報システム分野の諸理論を用い、質的研究（インタビュー調査）と量的研究（アンケート調査）を通して、中国消費者が小売B2C・ECサイトを利用する際の心理的メカニズムを明らかにする。
▼多田麻希子著『秦漢時代の家族と国家』（A5判・二九二頁・三六〇〇円）
中国古代の法に現れた「同居」という言葉を鍵として、経済単位としての家族が居住単位としての家族に合一する経緯を論じ、家族の歴史的な成立過程を解明。女性・入り婿・奴婢等を糸口に郷里社会内部に存在した諸関係の一端を明らかにし、国家と社会との具体的な関係を描写する。
▼八木晃二著『超ID社会』（A5判・二一六頁・二二〇〇円）
なぜPayの不正ログインは発生したのか？なぜマイナンバーカードは普及しないのか？多くのIDを使用する高度情報化社会である現在の「ID社会」が抱える課題を浮き彫りにし、解決策を提案する。IDを利用するシステム構築者、運用者、ユーザー必読の一冊。

玉川大学出版部

▼野田研一・赤坂憲雄編『フィールド科学の入口』文学の環境を探る』（A5判・二〇〇頁・二四〇〇円）人文科学研究を環境に視点をおいて再編しようとする『環境人文学』を柱に、フィールドワークと文学研究を8人の研究者が語る。

▼佐々木雅幸・赤坂憲雄編『フィールド科学の入口』創造する都市を探る』（A5判・一九二頁・二四〇〇円）7人の研究者が、実践を経て手探りでおこなってきた記録をまとめ、自らの経験をもとに語る「市」というあたらしい概念のもとに語る。

▼赤坂憲雄編『フィールド科学の入口』災害とアートを探る』A5判・二〇八頁・二四〇〇円）体験をもとに、アートをつうじて災害を伝えていくことの重要性を論じる。東日本大震災後のアートとミュージアムのありかたとは。

▼鳥越文蔵・内山美樹子監修、義太夫節正本刊行会編『義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集 第六期』（A5判・平均一四四頁・二八〇〇円）現在未翻刻の義太夫節浄瑠璃作品を翻刻活字化するシリーズ第六弾。無形文化遺産である人形浄瑠璃文楽の原作10作を底本に忠実に再現する。

中央大学出版部

▼七〇周年記念叢書編集委員会編『グローバルバリエーションを超えてーアジア・太平洋地域における比較法研究の将来』（A5判・五〇二頁・六〇〇〇円）グローバルな発展要因であり、時として成長に対する阻害要因ともなり得るアジアにおける多様性を尊重しつつ、国際的な調和と一法の支配を確立するには、アジアからの問題提起と、大陸法・英米法・日本法からの示唆を踏まえた比較法研究の共通基盤を確立する必要がある。日本比較研究所は設立七〇周年にあたり、憲法・契約法・コーポレートガバナンス・サイバー犯罪の四つの主要な法領域を選び、研究交流実績のある各国研究者の協力の下、現在の比較法的課題を議論するシンポジウムを開催した。本書は上記シンポジウムの報告・コメント及び寄稿論文から成るアジア・太平洋地域における比較法研究の集大成である。



東京大学出版会

▼内田貴著『民法Ⅲ 第4版 債権総論・担保物権』（A5判・七二〇頁・三九〇〇円）内田民法シリーズ、待望の改訂。債権総論と担保物権をセットにし、最新判例、重要論点を網羅。二〇二〇年四月施行の改正民法に完全対応した決定版。

▼服部龍二著『外交を記録し、公開するーなぜ公文書管理が重要なのか』（A5判・二七二頁・三九〇〇円）外務省所蔵文書に加え、外交関係者へのインタビューなども用いつつ、明治以降一五〇年におよぶ外交文書の記録・保存と公開の歴史を通史的に解明し、将来の展望を示す。

▼丹羽美之著『日本のテレビ・ドキュメンタリー』（四六判・二八八頁・三〇〇〇円）番組の制作者たちはどのように時代と格闘し、日本社会を描いてきたのか。戦後日本社会を記録した代表的なテレビ・ドキュメンタリーの変遷をたどる。

▼日本地球惑星科学連合編『地球・惑星・生命』（四六判・二八八頁・二三〇〇円）いま地球惑星科学の何が面白いのか。第一線の研究者が、研究の最前線を紹介し、その課題と今後の展望をわかりやすく生き生きと語る。

東京電機大学出版局

▼イゴール・ハリシキヴィッチ著／篠原
稔和監訳『ヘザインマネジメントシリ
ーズ』実践デザインマネジメント・デザ
イン経営のための実践ハンドブック』
(B5変判・二四〇頁・三七〇〇円) 創
造性、イノベーション、ビジネスモデル
の開発を組織化していく方法について言
及した書。チームのブレインストーミン
グを通じたビジネスソリューションに繋
がるアイデアからのスムーズな移行につ
いて解説。また、新しいビジネスモデル
をデザインするための体系的な方法と、
それをサポートするためのテクノロジーの選択
方法についても解説している。

▼ソテリス・ララウニス著／篠原稔和
監訳『ヘザインマネジメントシリーズ』
解説デザインマネジメント―組織論とマ
ーケティング論からの探究』(B5変判・
三九二頁・五四〇〇円) デザインにおけ
る戦略・プロセス・実装について、人間
と社会を中心にしてマネジメントするこ
との重要性を探求。また、マーケティング
やイノベーション、デザインの主要概
念を統合して、デザインマネジメントに
関して深く解説している。

法政大学出版局

▼金志成著『対話性の境界―ウーヴェ・
ヨーンソンの詩学』(A5判・四七八頁・
五二〇〇円) 精緻な読解と大胆な批評性
で、戦後ドイツを代表する作家の「真実
への困難な探求」を描き出す。

▼O・ヘッフェ著 品川哲彦・竹山重光・
平出喜代恵訳『自由の哲学―カントの実
践理性批判』(四六判・五七二頁・五二
〇〇円) 現代ドイツの社会哲学の泰斗が、
カントによる道徳哲学・倫理学の革命の
意味を明快に読み解く最良の注釈書。

▼三浦隆宏著『活動の奇跡―アーレント
政治理論と哲学カフェ』(四六判・三八
〇頁・三四〇〇円) 哲学とその外を往還
して「私たち」の感覚を取り戻し、思考
なき全体主義を克服する道を探る好著。

▼飯田文雄編『多文化主義の政治学』(A
5判・二九六頁・三八〇〇円) 異なる背
景を持つ文化を容認し共存をはかる多文
化主義を理論と事例研究により検討する。

▼F・ブオナローティ著 田中正人訳『平
等をめざす、パプーアの陰謀』(四六判・
八五四頁・八二〇〇円) 自由で幸福で平
和で持続する形態を社会に与えるために。
本篇と裁判の証拠資料等も合わせた全訳。

武蔵野大学出版会

▼佐藤佳弘著『脱! SNSのトラブル
(増補版)』(四六判・一八四頁・一三五
〇円) SNSは強力な情報発信ツールで
あるが、うかつな投稿によってトラブル
が生じる場合がある。本書はSNSを正
しく使うためのノウハウを、豊富なイラ
ストを使用してやさしく解説している。

▼阿部和徳著『薬名「語源」事典』(B5
判・七六〇頁・六八〇〇円) その薬はな
ぜその名前がついたのか? 「語源」歴
史「エピソード」から薬名の由来を解説。
日本の医薬品1321点を網羅した、薬
剤師国家試験対策にも最適な一冊。

▼城月健太郎編著『社交不安症の基礎理
解と認知行動療法』(A5判・一四八頁・
二五〇〇円) 他者の注視を浴びることに
対する恐怖や不安を特徴とする社交不安
症について、その実態や心理学的なメカ
ニズムについて概観する。



武蔵野美術大学出版局

▼白尾隆太郎・三浦明範著『造形の基礎 アートに生きる。デザインに生きる』(A5判・二二四頁・二二〇〇円)アートが好きだ、デザインにも興味がある。さて、自分はどちらの方向へ進むべきか?そして進んだ先には、どのような学びが待っているのか:悩める学生のために、画家とグラフィックデザイナーがその違いを解析し、美大でしか学べないこと、美大生が身につけるべきことを指南しつつ、美術における基礎教育について言及する。美大進学を考える高校生、保護者にもオススメ。

▼三浦明範著『絵画の材料』(B5判変型・一六〇頁・二四〇〇円)自由で豊かな絵画表現への第一歩は、絵画の材料を知ることからはじまる。本書ではさまざまな絵画の材料を知り、それらの特性を歴史や成分組成等の化学の観点を含めて多角的に捉えながら理解していく。一七世紀以降、ほぼ忘れられた存在となっていた描画材料「金属尖筆(メタルポイント)」を手に、新たな感覚で今の世界を描き出す画家が、経験を踏まえて縦横に語る、絵画制作のための材料講義。

明星大学出版部

▼明星センター(編著)『自立と体験1 2020年度版』(A4判・九九頁・一六〇〇円)この授業「自立と体験1」は、全学的な初年次教育科目。学部・学科を越えてのグループワークや学内の現場調査を行い、様々な人と出会い、深く考え合う。このテキストは、自分自身を新鮮な目で見つめ直し、明日への新しいステップを発見する絶好の機会を提供する。

▼樋口修資『第2版 教育の制度と経営15講』(A5・二四〇頁・二〇〇〇円)憲法・教育基本法体制及び公教育制度を支える国と地方の教育行政の仕組みを踏まえて、学校制度と就学制度、学校の管理運営と組織編成、教職員の身分・サービスと勤務管理や研修制度、学校の説明責任と地域参画の学校づくりなど教育の制度的・経営的事項の全体像を明らかにする。また、教育課程と生徒指導について取り上げるとともに、安全安心な学校生活を確保するための学校の保健安全管理の事項を取り上げる。

早稲田大学出版部

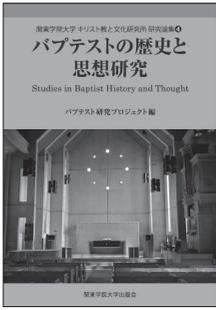
▼佐藤雄亮著『トルストイと「女」 博愛主義の原点』(A5判・三四〇頁・四〇〇〇円)幸福な家庭と理想的世界を結び付け、夢見たレフ・トルストイ。その生涯は、幼い頃死別した母をはじめ、多くの女性たちによって彩られていた。女性たちとの体験は、『戦争と平和』『安娜・カレニナ』『見知らぬひと』など数々の名作にどのように反映されているのだろうか。「女性」はトルストイの博愛主義の原点といえるが、これまでトルストイの女性遍歴はタブー視されてきたこのタブーに果敢に挑み、名作の新たな解釈を試みた画期的研究。

▼梅宮創造著『ディケンズの眼 作家の試行と試練』(四六判・二六三頁・二五〇〇円)「デヴィッド・コパフィールド」「クリスマス・キャロル」「オリバー・ツイスト」など数々の名作を生み出した天才作家。その初期から中期、最晩年に至るまでの試行と試練を、ディケンズ研究の第一人者がたどる。

関東学院大学出版会

▼バプテスト研究プロジェクト編『バプテストの歴史と思想研究④』（A5判・一六四頁・一四〇〇円）関東学院大学のバプテスト研究者四人による最新論文集。一八世紀の開放的陪餐主義に関する研究。戦中・戦後期にバプテスト連盟内外に多大な影響を与えた熊野清樹、またキリスト教土着化に励んだW・アキスリング研究、最後にバプテストを去った教団新生会諸教会の歴史の真相などが、興味深く取りあげられている。

〔目次〕第1章 一八世紀英国カルヴァン主義的バプテストにおける聖晩餐論／第2章 熊野清樹を通して見る日本のバプテスト（上）／第3章 最初の名著都民となった宣教師 ウィリアム・アキスリング／第4章 バプテスト教会から去った諸教会の歴史とその諸問題



名古屋大学出版会

▼コリンズ&エヴァンズ著／奥田太郎監訳『専門知を再考する』（A5判・二二〇頁・四五〇〇円）科学技術の浸透した世界では、専門家を無視することも、絶対的に信頼することもできない。では専門知とは何か。その多様なあり方をトータルに把握。対話型専門知の可能性に光をあて、現代社会に展望を拓く名著。

▼チャールズ・テイラー著／千葉眞監訳『世俗の時代』上・下（A5判・五四八頁／五〇二頁・各八〇〇円）近現代の特徴の一つとされる「世俗化」。しかし、人々は信仰や霊性とともに生きている。では、神への信仰はいかにして力を失い、個人の選択肢の一つとなったのか。壮大な歴史的展望のもとに宗教・思想・哲学の曲折に満ちた展開を描く。

▼池上俊一著『ヨーロッパ中世の想像界』（A5判・九五八頁・九〇〇〇円）西洋中世の人びとが生きた豊穡なる世界——幻獣・怪物から楽園・煉獄まで、文学や図像を彩る広大な想像界を縦横無尽に論じ、その全体構造を解明する。心性史・社会史を刷新する「イマジネールの歴史学」の集大成。

名古屋外国語大学出版会

▼川原浩司著『言語の構造——人間の言葉と動物のコトバ』（A5判・三〇八頁・六三〇〇円）動物との比較も踏まえた新鮮な言語理論。言語の仕組みとは何か？チヨムスキー生成文法の方法論を駆使。



▼松山洋平著『第二外国語で学ぶアラビア語入門』（A5判・一七〇頁・二八〇〇円）読みにくいアラビア文字を大きく表記。初めての教科書に、また第二外国語としての学びに適切な難易度。アラブ文化、アラビア語教育の第一人者が執筆。



▼梅垣昌子著『フォークナー、フォークナー』（仮題・四六判・二八〇頁予定）あの夕陽「永遠の戦場」など、知られざる傑作短編群で迫るフォークナー大山脈。

三重大学出版会

- ▼中村智帆著『動物セラピーの政策学』（四六判・三四二頁・二七〇〇円）少年院・学校・事業所・老人ホームへのセラピー犬の導入事例の現地検証。セラピー犬を組織や集団に導入したときにどのような変化がなぜ起こるのか。教育・福祉領域でのセラピー犬の役割を明示する。
- ▼竹田寛（文・写真）・竹田恭子（絵）著『続続・理事長の部屋から』（B5判カラー・二二四頁・二七二〇円）野に咲く花には、とっておきの顔があります。限りなく近づいて初めて見えるその素顔、色鮮やかな写真とイラストで心あたたかく綴ります。
- 〈目次〉 早咲き桜、桜、野ばら、ハルジオンとヒメジョオン、稲田、ニラ（蕪）、醉芙蓉（すいふよう）、紅葉・ドウダンツツジ、枯れ尾花、竹、陽だまり、梅、からすのえんどう、夕化粧、野あざみ、のうぜんかずら、カンナ、さぎ草、ヒレタゴボウ、メタセコイア、暖冬

京都大学学術出版会

- ▼馬場正昭・廣田襄著『化学がめざすもの』（A5判・二七二頁・二二〇〇円）「科目選択」せず素通りしてしまった人たちに贈る深く広大な「物質」の世界への道案内。これからの私たちの生活を化学はどう変えていくのか？ 現代社会を生きる上で知っておくべき英知とリスク。
- ▼安藤和雄編著『東ヒマラヤ都市なき豊かさの文明』（A5判・五六〇頁・六五〇〇円）中国やインドの低地からの文明的干渉に抗し、風土に応じた生業と、独自の社会制度を築いたアジア高所地域に、今に生きる「都市なき文明」の力を見る。既存の文明論に一石を投ず。
- ▼オウイデイウス／高橋宏幸訳『変身物語2』（四六判変型、四〇八頁・三七〇〇円）変身の神話を綴りつつ、ローマ屈指の詩人が、物語を語り継ぐ喜びを歌い上げる。全体の固有名詞索引収録（全2冊）
- 『西洋古典叢書』2020 第1回配本。以下続刊リウイウス『ローマ建国以来の歴史6』、ヒュギュヌス『神話伝説集』、ポルピュリオス『ピタゴラス伝／マルケラへの手紙／ガウロスへの手紙』、クセノポン『ソクラテス言行録2』。

大阪大学出版会

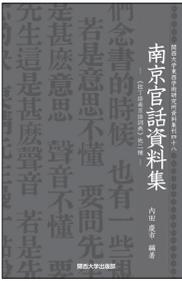
- ▼中澤渉・野村晴夫編『シリーズ人間科学4 学ぶ・教える』（四六判・二八四頁・二〇〇〇円）「学ぶ」ことは環境適応の過程であると同時に、知識やスキルを獲得しようとする行為である。「教える」人が介在することで促進され、「教える」ことで「学ぶ」こともある。人間の本性を理解するための見方とその魅力を提示。
- ▼山中浩司・石蔵文信編『シリーズ人間科学5 病む』（四六判・二四二頁・二〇〇〇円）人間と人間社会にとつての普遍的な問題としての「病む」ことの意味を見出し、治療や癒しの制度と意味を論じる。「病む」こととそれに向けられる社会制度と社会のまなざしが、普遍的で不可分な重要性をもつことを明らかにする。
- ▼志水宏吉編『共生学宣言』（A5判・三四〇頁・二五〇〇円）他者とともに今を生きるための「共生学」を提示し、共生にまつわる諸課題への実践を体系的に整理する。

関西大学出版部

▼陶徳民著『松陰とペリー―下田密航をめぐる多言語的考察』（B5判・一六二頁・四二〇〇円）米側の一次史料と貴重画像により、下田密航の真相と本質に迫る。ペリーが行った人道的介入の事実確認など、重要な発見が満載。「心が動いた」歴史的瞬間をキャッチした意欲作。



▼内田慶市編著『南京官話資料集―（拉）丁語南京語詞典』他二種』（B5判・四九四頁・七五〇〇円）南京官話に関する資料は少ない。資料三種（ラテン語南京語辞典、教義問答、南京会話テキスト）に解題を付けて影印した。



関西学院大学出版会

▼水戸考道／大石太郎／大岡栄美編著『総合研究カナダ』（A5判・二〇八頁・二八〇〇円）多文化社会カナダを総合的に理解するために。
▼中尾豊喜著 K・G・りぶれつとNo.52『規則と生徒指導―一九八〇・九〇年代のジレンマ』（A5判・一五二頁・一四〇〇円）日本の学校内部規則を考察・分析する。

▼金崎健太郎著『情報システム調達の政策学―マイナンバーシステム調達における実態と課題』（A5判・一六六頁・三四〇〇円）品質と価格の適正を担保する調達制度とは。

▼李政元著『裁判例にみる家族と暴力―家庭福祉の危機と回復』（A5判・二二四頁・二二〇〇円）家族間暴力をテーマに「家族福祉論」を学ぶ。

▼白銀夏樹著『アドルノの教育思想―アウシュヴィッツ以後』の啓蒙』（A5判・二四〇頁・三〇〇〇円）啓蒙を批判したアドルノの教育への期待とは。

九州大学出版会

▼九州大学基幹教育院 次世代型大学教育開発センター編『アクティブ・ラーナーを育む―新時代を拓く基幹教育』（B5判・一五四頁・三五〇〇円）担当教員の専門分野や教育経験を問わない、「誰でもできるアクティブ・ラーニング」のための教育手法や科目運営体制を詳しく説明する。

▼マシュー・オーガスティン編『明治維新を問い直す―日本とアジアの近現代』（四六判・二二八頁・一八〇〇円）明治維新とは何だったのか？ 国内外の研究者が、日本とアジアという地政学的領域を捉え直し、現代的・国際的視点から明治維新の世界史的な位置づけを試みる。『地球社会ライブラリー』

▼九州大学共創学部ワールドクエスト編集委員会編『ワールドクエスト―世界とつながる上級英単』（B6判・三〇八頁・一八〇〇円）徹底したユザー調査とデータを利用した客観的な分析のもとに実用的なカテゴリーで単語を掲載した「大学生による大学生のための英単語帳」。

(株) 太 洋 社	〒501-0431 岐阜県本巣郡北方町北方148-1 TEL 058-324-2111
(株) 竹 尾	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-12-6 TEL 03-3292-3617
(株) 東京弘報社	〒101-0051 東京都千代田区神田猿樂町1-2-1 TEL 03-3291-1771
(株)とうこう・あい	〒104-0061 東京都中央区銀座7-13-12 サクセス銀座7ビル4F TEL 03-5148-7200
東光整版印刷(株)	〒135-0006 東京都江東区常盤2-12-15 TEL 03-3632-0801
東洋美術印刷株式会社	〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-6-2 TEL 03-3265-9861
(株)トーヨー企画	〒602-0923 京都府京都市上京区油小路通中立売上ル 油橋詰町93-7 TEL 075-411-8288
図 書 印 刷 (株)	〒114-0001 東京都北区東十条3-10-36 TEL 03-5843-9700
(株)日新広告社	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-12-10 喜久屋ビル3F TEL 03-3263-9431
(株)日本経済新聞社	〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7 TEL 03-6256-7528
日本宣伝販売(株)	〒330-0856 埼玉県さいたま市大宮区三橋3-278 TEL 048-620-1021
(株) 博 報 堂	〒107-6322 東京都港区赤坂5-3-1 赤坂Bizタワー19F TEL 03-6441-6711
藤原印刷(株)	〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-4-5 TEL 03-3291-0191
(株) 平 文 社	〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-35-7 TEL 03-3944-0301
(株)毎日新聞社	〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 TEL 03-3212-3340
誠 製 本 (株)	〒174-0042 東京都板橋区東坂下1-19-5 TEL 03-3967-3952
(株) 遊 文 舎	〒532-0012 大阪府大阪市淀川区木川東4-17-31 TEL 06-6304-9325
(株)読売新聞東京本社	〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 TEL 03-3242-1111

一般社団法人 大学出版部協会 賛助会員名簿

- (株) 朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
TEL 03-5540-7749
- 亜細亜印刷(株) 〒380-0804 長野県長野市大字三輪荒屋1154
TEL 026-243-4858
- (株) アベル社 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館408
TEL 03-3235-1360
- 尼崎印刷(株) 〒661-0975 兵庫県尼崎市下坂部3-9-20
TEL 06-6494-1122
- (株) A L E 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-8-6 日本橋ビル4階
TEL 03-5652-8627
- 王子製紙(株) 〒104-0061 東京都中央区銀座4-7-5
TEL 03-3563-7072
- (株)加藤文明社印刷所 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-15-6 K-STAGE
TEL 03-3261-8281
- 城島印刷(株) 〒810-0012 福岡県福岡市中央区白金2-9-6
TEL 092-531-7102
- (株) 糸川印刷 〒112-0012 東京都文京区大塚6-9-7
TEL 03-3943-9811
- ㈱コムゾンインタラクティブジャパン 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル4F
TEL 03-3525-8001
- 港北出版印刷(株) 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-7-7
TEL 03-5466-2201
- 三松堂(株) 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-2-1 住友不動産千代田ファーストビル南館14階
TEL 03-6823-5360
- 三美印刷(株) 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-9-8
TEL 03-3803-3131
- 三立工芸(株) 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-2-10 寺西ビル3F
TEL 03-3261-5171
- 三和印刷(株) 〒381-2226 長野県長野市川中島町今井1822-1
TEL 026-285-2300
- 信濃印刷(株) 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-1-11
TEL 03-3237-3601
- (株) 渋谷文泉閣 〒380-0804 長野県長野市三輪荒屋1196-7
TEL 026-244-7185
- (株) 眞興社 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町19-2
TEL 03-3462-1181
- 新日本印刷(株) 〒162-0801 東京都新宿区山吹町342
TEL 03-3269-3611
- (株) 精興社 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-9
TEL 03-3293-3021
- 創栄図書印刷(株) 〒604-0812 京都府京都市中京区高倉通二条上ル天守町766
TEL 075-255-2288
- 大同印刷(株) 〒849-0902 佐賀県佐賀市久保泉町上和泉1848-20
TEL 0952-71-8550
- ダイニック(株) 〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 御成門ビル
TEL 03-5402-1811
- (株) 太平印刷社 〒140-0002 東京都品川区東品川1-6-16
TEL 03-3474-2821
-

21世紀に必要とされる「新しい法学入門」！

AI時代の法学入門

—学際的アプローチ

太田勝造編著／笠原毅彦・佐藤健・西貝吉晃・新田克己・福澤一吉著
A5判292頁 定価(本体2,600円+税)

従来の法学入門の枠を越え、法学、法社会学、AI研究、脳科学の研究者が、議論を重ねて執筆した「新しい法学入門」。法が対象とする社会領域の実態とダイナミクスを理解すると、法と社会の相互作用が見えてくる。AI時代に必要な、文理融合・学際的視点からの法学入門の創造を目指した書。



あの人変わってない？ いえ、あなたが分かってない人。

グローバル化時代の宗教文化教育

井上順孝著 四六判312頁 定価(本体2,600円+税)

毎日の食べ物、服装、習慣となっている行動、生きる目的。こうしたものに深く関わっている宗教文化。多様な宗教文化への配慮が欠かせないグローバル化時代に、どんな素養と発想が求められるのか。



大学改革の「不都合な真実」とは？

大学論の誤解と幻想

岩井 洋著 四六判248頁 定価(本体1,600円+税)

文学部不要論やグローバル大学・ローカル大学二分論など、大学改革政策の根拠と成果を徹底検証。「口は出すが金は出さない」政府の方針と、それに迎合する識者たちによるウソばかりの大学論をこれ以上信じてはいけない！

40代で中堅私立大学の再建を任された「元」学長が「任期を終えた今だから語れる」、本気で辛口の大学論！



弘文堂

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 ©表示価格は税抜

Tel. 03-3294-4801 / Fax. 03-3294-7034 <https://www.koubundou.co.jp/>



表紙写真：パリ第1大学(パンテオン・ソルボンヌ)のリジュリュエー円形劇場
撮影：Gouts [CC BY-SA 4.0], via Wikimedia Commons
URL : https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Sorbonne_Amphitheatrum.jpg

大学出版123号(2020年夏)
2020年9月1日発行
頒価100円(〒共)

発行所：一般社団法人 大学出版部協会
ISSN 0913-3305
振替00170-8-389131

〒102-0073
東京都千代田区九段北1丁目14番13号
メゾン萬六403号室
TEL 03-3511-2091 FAX 03-3511-2092
E-mail : mail@ajup-net.com
URL : <http://www.ajup-net.com/>

表紙デザイン：阿部卓也

※季刊『大学出版』は、大学出版部協会の
公式HPでも、PDF版を全文無料で
ダウンロードいただけます

一般社団法人 大学出版部協会 加盟出版部一覽

■ 北海道大学出版会

〒060-0809 札幌市北区北9条西8丁目
北海道大学構内
TEL 011-747-2308 FAX 011-736-8605

■ 弘前大学出版会

〒036-8560 弘前市文京町1番地
弘前大学附属図書館内
TEL 0172-39-3168 FAX 0172-39-3171

■ 東北大学出版会

〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学構内
TEL 022-214-2777 FAX 022-214-2778

■ 流通経済大学出版会

〒301-8555 龍ヶ崎市平畑120
TEL 0297-60-1167 FAX 0297-60-1165

■ 聖徳大学出版会

〒271-8555 松戸市岩瀬550
TEL 047-365-1111 FAX 047-363-1401

■ 慶應義塾大学出版会

〒108-8346 港区三田2-19-30
TEL 03-3451-3168 FAX 03-3451-3124

■ 専修大学出版局

〒101-0051 千代田区神田神保町3-10-3
TEL 03-3263-4230 FAX 03-3263-4288

■ 玉川大学出版部

〒194-8610 町田市玉川学園6-1-1
TEL 042-739-8935 FAX 042-739-8940

■ 中央大学出版部

〒192-0393 八王子市東中野742-1
TEL 042-674-2351 FAX 042-674-2354

■ 東京大学出版会

〒153-0041 目黒区駒場4-5-29
TEL 03-6407-1069 FAX 03-6407-1991

■ 東京電機大学出版局

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番
TEL 03-5284-5385 FAX 03-5284-5387

■ 法政大学出版局

〒102-0073 千代田区九段北3-2-3
法政大学九段校舎内
TEL 03-5214-5540 FAX 03-5214-5542

■ 武蔵野大学出版会

〒202-8585 西東京市新町1-1-20
武蔵野大学構内
TEL 042-468-3003 FAX 042-468-3004

■ 武蔵野美術大学出版局

〒180-8566 武蔵野市吉祥寺東町3-3-7
TEL 0422-23-0810 FAX 0422-22-8309

■ 明星大学出版部

〒191-8506 日野市程久保2-1-1
TEL 042-591-9979 FAX 042-593-0192

■ 早稲田大学出版部

〒169-0051 新宿区西早稲田1-9-12
TEL 03-3203-1551 FAX 03-3207-0406

■ 関東学院大学出版会

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1
TEL 045-786-5906 FAX 045-785-9572

■ 東海大学出版部

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1
TEL 0463-58-7811 FAX 0463-58-7833

■ 名古屋大学出版会

〒464-0814 名古屋市千種区不老町1
名古屋大学構内
TEL 052-781-5027 FAX 052-781-0697

■ 名古屋外国語大学出版会

〒470-0197 日進市岩崎町竹ノ山57
名古屋外国語大学内
TEL 0561-75-2503 FAX 0561-75-1723

■ 三重大学出版会

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
三重大学総合研究棟Ⅱ3階
TEL 059-232-1356 FAX 059-253-3095

■ 京都大学学術出版会

〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町69
京都大学吉田南構内
TEL 075-761-6182 FAX 075-761-6190

■ 大阪大学出版会

〒565-0871 吹田市山田丘2-7
大阪大学ウエストフロント
TEL 06-6877-1614 FAX 06-6877-1617

■ 関西大学出版部

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-0238 FAX 06-6389-5162

■ 関西学院大学出版会

〒662-0891 西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL 0798-53-7002 FAX 0798-53-5870

■ 広島大学出版会

〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2
広島大学図書館内
TEL 082-424-6226 FAX 082-424-6211

■ 九州大学出版会

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-8-34
九州大学産学官連携イノベーションプラザ
305
TEL 092-833-9150 FAX 092-833-9160

■ 大阪経済法科大学出版部(体会)

〒581-8511 八尾市楽音寺6-10
TEL 072-941-9129 FAX 072-941-9979